Panasonic®

操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 CF-52シリーズ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

キーの組み合わせによる操作

お知らせ

- 繰り返し連続して押さないでください。
- フラットパッド、外部マウスなどを操作しながら押さないでください。
- Windowsにログオンするまで、キー操作は行わないでください。ハードディスク状態表示ランプ が消えるまでお待ちください。セットアップユーティリティの画面では、Fn+F1、Fn+F2、Fn+F3のキー操作のみ働きます。
- アプリケーションソフトによっては働かない場合があります。
- Windowsにログオンすると、ポップアップウィンドウが表示されます。ただし、アプリケーションソフトの状態によっては表示されない場合があります（[コマンド プロンプト]が全画面表示になっているときなど）。

キー	機能	ポップアップウィンドウ
Fn+F1 Fn+F2	**内部 LCD の輝度調整** （Fn+F1= 下げる／ Fn+F2= 上げる）	
Fn+F3	**画面の表示先の切り替え**（➔51 ページ） （外部ディスプレイの接続時） 内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ お願い ● 画面表示が切り替わるまで他のキーを押さないでください。 ● 次の場合はこの機能を使わないでください。 ・外部ディスプレイが接続されていないとき ・DVD-VideoやMPEGファイルなどの動画を再生しているとき ・拡張デスクトップモードを使用しているとき ・ピンボールなどのゲームを表示しているとき	—
Fn+F4	**音声出力のオン／オフ** お知らせ ● 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴りません。	オフ（ミュート）　オン

キーの組み合わせによる操作

キー	機能	ポップアップウィンドウ
Fn+F5 Fn+F6	音量調整 （Fn+F5= 下げる／ Fn+F6= 上げる） お知らせ ● 音量を微調整するときは、 Fn を押したまま F5 または F6 を断続的に押してください。	
Fn+F7	スタンバイ状態に入る（➔6 ページ）	—
Fn+F9	バッテリー残量確認 （バッテリーパックが本体に装着されているとき）	（➔13 ページ）
Fn+F10	休止状態に入る（➔6 ページ）	—

Hotkey設定

次の 2 つの設定をすることができます。

- **Fn キーロック**
  Fn を押した後、他のキーを押すまで、 Fn が押された状態（ロック状態）になります。キーの組み合わせが押しにくい場合に便利です。
- **ポップアップウィンドウの表示／非表示**

1 Hotkey設定プログラムを起動する。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Hotkey設定]をクリックする。

2 各項目を設定する。

[Fnキーをロックする]

- Fn を 1 回だけ押す場合
  ① Fnを1回押す。（ロック状態）
  ② 組み合わせる他のキーを押す。（ロック状態解除）
- Fn を連続して使う場合
  ① Fnを2回押す。（ロック状態）
  ② 組み合わせる他のキーを押す。（再度Fnを押すまでロック状態のままです。）

[通知方法]

[Fnキーが押されたときに音を鳴らす][*1]
[Fnキーの状態を画面に表示する]：Fnの状態を画面右下のタスクトレイに表示します。

- Fn: Fn ロック状態
- Fn: Fn ロック解除

[ポップアップを表示しない]

ポップアップウィンドウが表示されなくなります。

3 [OK]をクリックする。

お知らせ

- Hotkey設定は、ユーザーごとに設定できます。

[*1] 音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使うと、アプリケーションソフトやファイルを閉じることなくパソコンの操作を終わることができます。操作を再開すると、スタンバイまたは休止状態に入る前に実行していたアプリケーションソフトやファイルにすばやく戻ることができます。

機能	状態の保存先	復帰するまでの時間	電力供給
スタンバイ	メモリー	短い	必要 （スタンバイ状態中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	ハードディスク	やや長い	不要 （ただし、休止状態を維持するために若干の電力が消費されます。）

スタンバイ・休止状態の設定

1 **[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックする。**

2 **[ポータブルコンピュータを閉じたとき]／[コンピュータの電源ボタンを押したとき]で[スタンバイ]または[休止状態]を選び、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- Windowsのメニューを使ってスタンバイまたは休止状態に入る場合は、この設定は不要です。

使用上のお願い

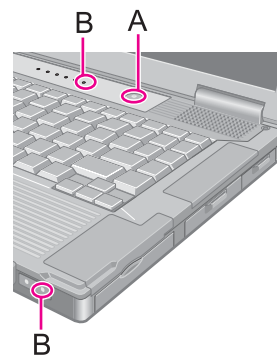
- 長時間スタンバイ状態にしておく場合は、AC アダプターを接続してください。AC アダプターを接続できない場合は、スタンバイ状態ではなく休止状態にしてください。
- スタンバイまたは休止状態を繰り返すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1 週間に 1 回程度）スタンバイまたは休止状態機能を使わずに Windows を再起動してください。
- 大切なデータは保存してください。
- リムーバブルディスクやネットワークドライブから開いたファイルは閉じてください。
- リジューム（➔7 ページ）の際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。スタンバイまたは休止状態のときのセキュリティには、Windows のパスワードをお使いください。
  ① [スタート] - [コントロール パネル] - [ユーザーアカウント]をクリックし、アカウントを選択する。
  ② [パスワードを作成する]をクリックしてパスワードを設定する。
  ③ [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]にチェックマークを付ける。

- 下記の場合は、スタンバイ・休止状態に入らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、スタンバイ・休止状態が働かなくなったり、パソコンおよび周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。
  - マルチメディアポケット状態表示ランプMP、ハードディスク状態表示ランプ、SD メモリーカード状態表示ランプSDの点灯中
  - オーディオファイルの録音・再生中や、MPEG ファイルなどの動画の再生中
  - DVD-Video の再生中
  - ディスクへの書き込み中
  - 通信ソフトやネットワーク機能を使用しているとき
  - 周辺機器の使用中
    （周辺機器が正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）
  - 外部マウスをシリアルコネクターに接続しているとき
- B's CLiP でフォーマットしたディスクが、CD/DVD ドライブに入っている（画面右下のタスクトレイにが表示されます）と、スタンバイまたは休止状態に入りません。ディスクはあらかじめ取り出してください。

スタンバイ・休止状態に入る／リジュームする

■ スタンバイ・休止状態に入る

1　ディスプレイを閉じるか、ビープ音[*1]が鳴るまで電源スイッチ（A）を押す。

- 電源状態表示ランプ（B）で状態を確認してください。
  スタンバイ状態：電源状態表示ランプが緑色に点滅する。
  休止状態：電源状態表示ランプが消える。
- Windowsのメニューを使ってスタンバイ・休止状態に入ることもできます。
  スタンバイ状態に入るには、[スタート] - [終了オプション] - [スタンバイ] をクリックしてください。休止状態に入るには、[スタート] - [終了オプション] をクリックし、 **Shift** を押したまま [休止状態] をクリックしてください。

お願い

スタンバイ・休止状態処理中

- 次の操作をしないでください。
  - キーボード、フラットパッド、電源スイッチ、無線切り替えスイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器の使用
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉

  電源状態表示ランプが緑に点滅（スタンバイ状態）または消灯（休止状態）するまでお待ちください。

- スタンバイ・休止状態に入るまで1～2分かかる場合があります。画面が暗くなっても、キーには触れないでください。
- ビープ音[*1]が鳴ったら、すぐに電源スイッチを離してください。指を離した後、電源状態表示ランプが点滅するか消灯するまで、その操作は行わないでください。電源スイッチを4秒間以上押すと、[コンピュータの電源ボタンを押したとき]の項目を設定していたとしても、パソコンが強制終了し、保存されていないデータは失われます。（➔5 ページ「スタンバイ・休止状態の設定」）

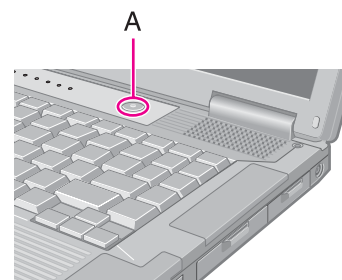
スタンバイ・休止状態のとき

- マルチメディアポケット機器や周辺機器の接続・取り外しを行わないでください。誤動作の原因になります。
- スタンバイ状態では電力が消費されています。特に、PCカード挿入時は電力消費量が増えることがあります。電力の供給がなくなると、保持されていたデータが失われます。スタンバイ機能を使うときは、ACアダプターを接続してください。
- 無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。

[*1] 音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。

■ スタンバイまたは休止状態からリジュームする

1 ディスプレイを開けるか、電源スイッチ（A）を押す。

- [ポータブルコンピュータを閉じたとき]で[スタンバイ]または[休止状態]を選んだ場合（➔5 ページ）は、ディスプレイを開くとリジュームします。

お願い

- リジュームが完了するまで、下記の操作をしないでください。画面表示のリジューム後、約15秒（通常）または60秒（ネットワーク接続しているとき）お待ちください。
  - キーボード（パスワードの入力以外）、フラットパッド、電源スイッチ、無線切り替えスイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器の使用
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉
  - Windowsの終了または再起動
  - スタンバイまたは休止状態に入る（約1分間お待ちください）

お知らせ

- スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、「TosBtMng は動作を停止しました」のメッセージが表示される場合があります。
  [プログラムの終了]をクリックしてください。
  Bluetooth接続が切れたときは、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetooth設定]をクリックしてから、Bluetooth機器に接続し直してください。

大切なデータを守るために、セキュリティ機能を使うことをお勧めします。

● 他のセキュリティ機能については下記をご覧ください。
  • 内蔵セキュリティ（TPM）（➔77 ページ）：詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードを設定する前に、スーパーバイザーパスワードを設定してください。

1. **セットアップユーティリティを起動する。（➔72ページ）**
2. **「セキュリティ」を選ぶ。**
3. **「スーパーバイザーパスワード設定」または「ユーザーパスワード設定」を選び、Enterを押す。**
4. **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、Enterを押す。**
   - パスワードがすでに設定されている場合は、「現在のパスワードを入力してください」にパスワードを入力して Enter を押してください。
   - パスワードを無効にする場合は、入力欄を空欄にして Enter を押してください。
5. **「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、Enterを押す。**
6. **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

お願い

● パスワードを忘れないようにしてください。スーパーバイザーパスワードを忘れると、パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）ができなくなります。その場合はご相談窓口にご相談ください。
● セットアップユーティリティを起動しているときは、他の人にパスワードを設定・変更されないようにパソコンから離れないでください。

お知らせ

● パスワードは画面に表示されません。
● 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大32文字です。
  • 大文字、小文字は区別されません。
  • 数字の入力にテンキーは使用できません。
  • パスワードの入力にShiftとCtrl は使用できません。
● スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

パソコンを無断で使用されたくないとき

起動時のパスワードを設定することにより、他の人の無断使用からパソコンを守ることができます。

1 パスワードを設定し（➔9ページ）、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定する。（➔77ページ）

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されていると、「起動時のパスワード」が「無効」であっても、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されます。

ハードディスク内のデータを読み書きされたくないとき

ハードディスクを別のパソコンに取り付けたときに、ハードディスクのデータを読み書きされないようにすることができます。ハードディスクを元のパソコンに戻すと、データの読み書きができます。（ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。）

1 セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、「ハードディスク保護」を「有効」に設定する。（➔77ページ）

お願い

- 元のパソコンでデータの読み書きをするには、セットアップユーティリティの設定が、ハードディスクを取り外す前と同じでなくてはなりません。
- スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ハードディスク保護機能は使えません。あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください。（➔9ページ）
- ハードディスクの修理を依頼する際は：
  - お客様ご相談センターにご相談ください。
  - 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスク保護機能は、内蔵ハードディスクにのみ働きます。外付けのハードディスクには働きません。
- 「起動時のパスワード」は、ハードディスク保護機能を有効にするためには必要ありませんが、セキュリティをより確実にするために「有効」にしておくことをお勧めします。

CD/DVD ドライブの操作を無効にする

CD/DVD ドライブの操作を無効にして、ドライブ中のディスクのデータを読み書きされないようにしたり、ドライブをパソコン起動時に使われたりしないようにします。無断アクセスやうっかりによる上書きからデータを保護することができます。

1 **セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「光学ドライブ」を「無効」に設定する。**
(➔75ページ)

お知らせ

- この機能はUSB CD/DVD ドライブには働きません。

バッテリー状態表示ランプ

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。
オレンジ色点灯	バッテリーの充電中です。
緑色点灯	バッテリーの充電完了です。
緑色点滅	高温モード時に、バッテリー残量が常温モード時の約 80%[*1] になるまで放電しています。（➔14 ページ）この状態でバッテリーパックを取り外さないでください。
赤色点灯	バッテリー残量が、約 9% 以下になっています。
赤色点滅	バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。
オレンジ色点滅	以下の理由で、バッテリーは一時的に充電できない状態です。 • 内部の温度が充電可能範囲外になっている。 • 消費電力量の多いアプリケーションソフトまたは周辺機器を起動しているため、充電するための電力が不足している。

[*1] 高温モード時におけるバッテリー残量 100% は、常温モード時の 80% と同等です。

お知らせ

- 過充電を防ぐため、いったんバッテリーが満充電になると、バッテリー残量が約95%以下になるまで再充電されません。

バッテリー残量を確認する

バッテリー残量を画面上で確認できます。

(Windows にログオンした後)

1 **Fn+F9を押す。**

- バッテリーパック装着時(例)

: 常温モード時(➔14ページ)

: 高温モード時(➔14ページ)

- バッテリーパック未装着時

お知らせ

- 次のような場合、表示されるバッテリー残量と実際のバッテリー残量が合わないことがあります。正しく表示させるにはバッテリー残量表示補正(➔16ページ)を行ってください。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、「99%」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
    (ACアダプターから電力の供給がないまま長時間スタンバイ状態にしていると、このような状態になる場合があります。)
- バッテリーの残量表示が「電源オプションのプロパティ」の「電源メーター」と異なる場合がありますが、故障ではありません。

高温モード

パソコンを高温環境下で使用したり、満充電の状態で長時間使用したりするときは、高温モードにするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「環境」を「自動」（工場出荷時の設定）または「高温」にしてください。（➔74 ページ）

お知らせ

- 高温モード時におけるバッテリー残量100%は、常温モード時のバッテリー残量80%と同等です。
- 「常温」から「高温」またはその逆に切り替えると、バッテリーがいったん完全に充電または放電されるまで、バッテリー残量が正しく表示されません。
- 「自動」モード：
  いったん常温モードから高温モードへ自動的に切り替わると、バッテリーの劣化を防ぐために、切り替え後の充電量の合計が満充電量の約5倍になるまで常温モードに切り替わりません。

バッテリー残量が少なくなったときの動作

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

バッテリー残量が10%になったら [バッテリー低下アラーム]	バッテリー残量が5%になったら [バッテリー切れアラーム]
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓	● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示し、その後休止状態に入ります。 ↓
充電が必要です。	AC アダプターを接続するか、バッテリーパックを交換して、パソコンを起動してください。
● AC アダプターをすぐに接続してください。AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows を終了して電源状態表示ランプが消えていることを確認してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。	● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。 バッテリー切れで休止状態になった場合、そのままリジュームすると、Windows が正常に起動しなかったり、アラーム機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。

バッテリー容量を正確に表示させる（バッテリー残量表示補正）

バッテリー残量表示補正機能を使うと、バッテリー容量を計測し記憶させることができます。バッテリー残量を正確に表示させるために、この機能を使っていったん満充電にしてから完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後すぐに、少なくとも一度は行ってください。バッテリー残量表示補正は、通常 3 か月おきに実施してください。長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合もこの操作を行ってください。

1. **AC アダプターを接続する。**
2. **すべてのアプリケーションソフトを終了する。**
3. **バッテリー残量表示補正を実行する。**

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ] をクリックする。

② 確認メッセージが表示されたら、[開始]をクリックする。

- バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーが劣化する原因になります。前回補正してから約 1 か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。その場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ Windowsを終了するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了すると、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量表示補正が終了すると、通常の充電が始まります。

お知らせ

- 10℃～30℃の温度環境で実行してください。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：約4時間
  - 完全放電にかかる時間：約4時間
- バッテリー残量表示補正実行中にパソコンの電源を切ると（停電、または誤ってACアダプターやバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリー残量表示は補正されません。
- バッテリー残量表示補正は、次の手順でも実行できます。
  ① パソコンを再起動する。
  ② パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間に**F9**を押す。
  ③ バッテリー残量が表示されたら**Enter**を押す。
  ④ 画面の指示に従って操作を行う。

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品のため、交換が必要になります。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、バッテリー残量表示補正を実行した後でも性能が回復しない場合は、新しいものと交換してください。

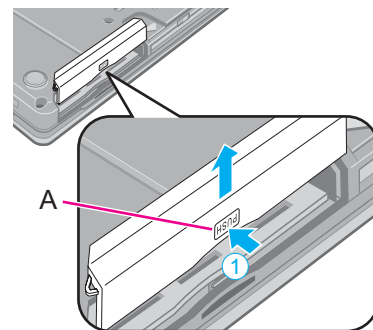
お願い

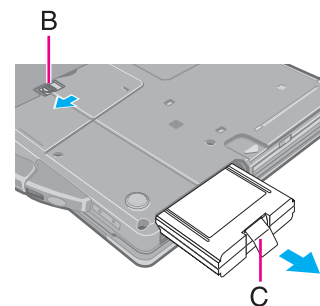
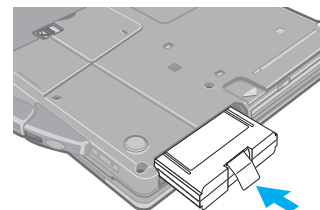
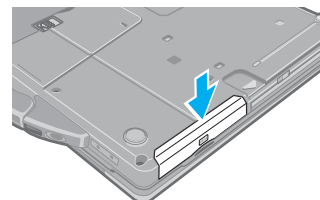
- バッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。初めてお使いになる前に必ず充電してください。ACアダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- スタンバイ状態に入っているときは、バッテリーパックの取り外しや交換を行わないでください。データが失われたり、パソコンが故障したりする可能性があります。

1 **パソコンの電源を切る。**

- スタンバイ機能は使わないでください。

2 **本体を裏返してカバーを外す。**

① PUSH マーク（A）を押しながら、カバーをスライドして取り外す。

3 **バッテリーパックを取り外す／取り付ける。**

- 取り外すには
  ラッチ（B）をスライドさせ、そのままバッテリーパックのタブ（C）を引く。

● 取り付けるには
スロットの奥までしっかりとバッテリーパックを挿入する。

4　カバーをスライドして元どおりに取り付ける。
カチッと音がするまでカバーを押す。

お願い

● パソコンを持ち運ぶ際にバッテリーパックが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。
● ラッチがロックされている状態で無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックの破損の原因になります。

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先
・最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ：http://www.jbrc.net/hp （2008 年 9 月現在）

自動表示機能を有効にする

初めて Windows にログオンした場合、PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定するための画面が表示されます。次の手順を行ってください。

1 **[Panasonic からのお知らせが1件あります]をクリックする。**

2 **確認の画面で[はい]をクリックする。**

次の機能の自動表示機能が有効になります。

- バッテリーに関する情報を表示する

以降、定期的にバッテリーに関する情報があるかチェックします。

お知らせ

- 確認の画面で[いいえ]または[キャンセル]をクリックした場合
  - [いいえ]をクリックした場合
    以降、確認の画面が表示されなくなります。PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするには、「設定を変更する」をご覧になり、設定してください。
  - [キャンセル]をクリックした場合
    次回Windowsにログオンしたときに、再度確認の画面が表示されます。
- PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするための確認画面は、新しく作成したユーザーアカウントで初めてWindowsにログオンした場合も表示されます。

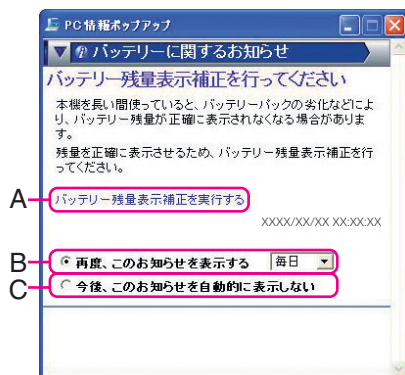
バッテリーに関する情報を確認する

PC情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、次の場合に [バッテリーに関するお知らせがX件あります] という小ポップアップ画面が表示されます。
バッテリーパックの状態は定期的に確認されるため、該当の状態になったときに必ずバッテリーに関する情報が表示されるものではありません。

- **バッテリー残量表示補正に関するお知らせ**
  バッテリーパックの使用開始日、または前回のバッテリー残量表示補正から 180 日以上経過している場合
- **バッテリーパックの消耗に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 31% ～ 50% の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）
- **バッテリーパックの交換に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 30% 以下の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）

小ポップアップ画面が表示された場合は、次の手順でバッテリーに関する情報を確認してください。

1 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります]をクリックする。**

2 詳細を確認する。

（画面は一例です）

A. バッテリー残量表示補正を行う方がよい場合に表示されます。クリックすると、「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」が起動します。
B. クリックすると、再度自動的にお知らせを表示します。[▼] をクリックすると、再度自動的にお知らせするまでの間隔を設定できます。
C. クリックすると、お知らせが自動的に表示されなくなります。

3 ☒をクリックし、ウィンドウを閉じる。

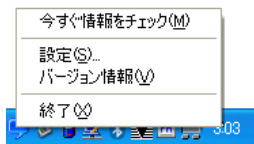
お知らせ

- 満充電容量は次の方法で確認することができます。
  現在の満充電容量を確認する。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [バッテリー使用状況]をクリックする。
  ③ [満充電容量]の値を確認する。

  購入時の満充電容量を確認する。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [SMBIOSデータ] をクリックする。
  ③ [Portable Battery] をクリックする。
  ④ [Portable Battery 1] をクリックする。
  ⑤ [Design Capacity] の値を確認する。
- バッテリー容量を計測し、記憶/学習するためにバッテリー残量表示補正を行ってください。
  バッテリー残量表示補正を行わないと、バッテリーパックの消耗や交換に関するお知らせが表示されない場合があります。

- バッテリー残量表示補正を行った場合、次回ログオン時にバッテリーに関する情報の確認を行います（「お知らせの設定」画面で [自動チェックする] にチェックマークを付けている項目のみ）。
- 「バッテリー残量表示補正を行ってください」というお知らせと同時に、「バッテリーパックが消耗しています」、「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合は、正確なバッテリー容量を得るために、バッテリー残量表示補正を行ってください。
- バッテリー残量表示補正は、周囲の温度が10℃～30℃の場所で行ってください。
  低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- 「バッテリーパックを交換してください」という画面が表示された場合は、バッテリーパックを交換してください。
  交換方法については、（➔17ページ「バッテリーパックを交換する」）をご覧ください。

小ポップアップ画面が表示されていないときにバッテリーパックに関するお知らせを確認する

1 **画面右下のタスクトレイの または を右クリックし、[今すぐ情報をチェック]をクリックする。**

小ポップアップ画面が表示されます。
お知らせする情報がない場合は、「お知らせはありません」という画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

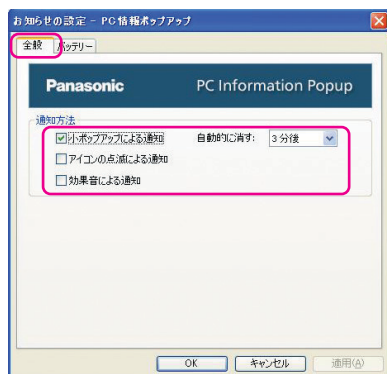
2 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります] をクリックする。**

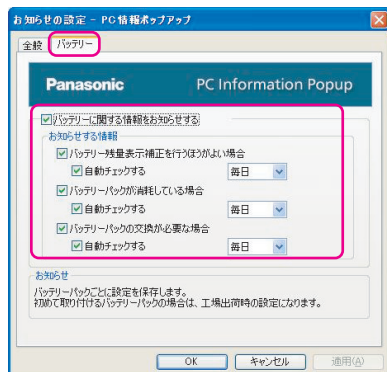
3 **詳細を確認する。**

設定を変更する

各お知らせの表示条件を変更したり、情報を表示する機能を無効にしたりすることができます。

1. 画面右下のタスクトレイの または を右クリックし、[設定] をクリックする。
2. [全般]、[バッテリー] から、設定を変更したい項目をクリックし、必要な項目を設定する。
3. 設定が終わったら [OK] をクリックする。

- **[全般]**
  すべてのチェックマークを外すと、お知らせする情報があっても小ポップアップ画面は表示されず、画面右下のタスクトレイの が に変わるだけになります。

- [小ポップアップによる通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に小ポップアップ画面を表示します。
  チェックマークを外しても、情報を手動で確認したときにお知らせがある場合は、小ポップアップ画面が表示されます。
- [自動的に消す]
  小ポップアップ画面が表示されてから消えるまでの時間を設定します。
- [アイコンの点滅による通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に画面右下のタスクトレイのPC情報ポップアップアイコンが点滅します。
- [効果音による通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に効果音が鳴ります。

- **[バッテリー]**
  バッテリーに関する情報の表示の設定を行います。

- [バッテリーに関する情報をお知らせする]
  チェックマークを付けると、バッテリーに関する情報が表示されます。
  チェックマークを外すと、バッテリーに関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔25ページ）をご参照ください。
- [お知らせする情報]
  各項目をクリックしてチェックマークを外す／付けると、バッテリーに関する情報の表示条件が変更されます。工場出荷時はすべての項目にチェックマークが付いています。
- [自動チェックする]
  チェックマークを付けると、定期的にバッテリーに関する情報があるか自動的にチェックします。
  チェックマークを外すと、[今すぐ情報をチェック] をクリックした場合のみ情報をチェックします。
  [▼] をクリックすると、自動的に情報をチェックする間隔を変更することができます。工場出荷時は [毎日] に設定されています。

お知らせ

- バッテリーに関するお知らせの設定内容はバッテリーパックごとに保存されます。
  バッテリーパックを取り外している場合は、すべて無効の状態になり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔25ページ）をご参照ください。

- 初めて取り付けるバッテリーパックの[自動チェックする]の設定について
  [自動チェックする]にチェックマークが付くかどうかは、PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするかどうかの確認画面（「自動表示機能を有効にする」（➔19ページ）の手順**2**の画面）で設定した内容がそのまま反映されます。
  この画面で[はい]を選択していた場合は、初めて取り付けるバッテリーパックにも[自動チェックする]にチェックマークが付き、チェックする間隔は工場出荷時の設定（毎日）に設定されます。
  必要に応じて変更してください。

アイコンについて

PC 情報ポップアップは、Windows を起動すると自動的に起動し、画面右下のタスクトレイに表示されるアイコンで各情報を確認することができます。

通常は が表示されています。
 が表示された場合は、以下の表をご覧ください。

アイコン	状態
	表示する情報がある場合（お知らせするタイミングでアイコンが変わります）。 または、小ポップアップ画面が表示されてから、一定時間が経過して小ポップアップ画面が消えた場合。 クリックすると、小ポップアップ画面が表示されます。

お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、バッテリーパックをセットして、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ポップアップ] をクリックしてください。
  情報を表示するには、「設定を変更する」（➔23ページ）をご覧になり、[バッテリーに関する情報をお知らせする]にチェックマークを付けてください。

次の機器を装着することができます。

- DVD MULTI ドライブパック

お願い

- スタンバイ・休止状態中や、マルチメディアポケット状態表示ランプ㎹またはハードディスク状態表示ランプ点灯中は、マルチメディアポケット機器の取り付け・取り外しを行わないでください。
- B's CLiPでフォーマットしたディスクをマルチメディアポケット機器に入れたままにしないでください。入っていると、「ポータブルコンピュータを閉じたとき」で「スタンバイ」または「休止状態」を選択しても、スタンバイ・休止状態に入りません。（➔5ページ 「スタンバイ・休止状態の設定」）

お知らせ

- 最新の製品情報についてはカタログなどをご覧ください。
- 各機器の取扱説明書をよくお読みください。

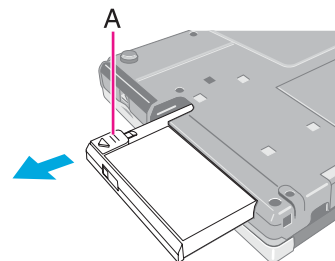
マルチメディアポケット機器の取り付け／取り外し

■ マルチメディアポケット機器を取り外す

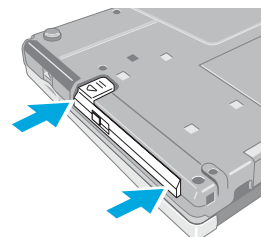
1 マルチメディアポケット機器の停止処理を行う。

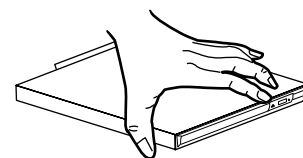
① 画面右下のタスクトレイの をクリックする。
② [標準デュアル チャネル PCI コントローラーを安全に取り外します]をクリックする。
③ 画面の指示に従って操作を行う。
④ マルチメディアポケット状態表示ランプ㎹とハードディスク状態表示ランプが消えていることを確認する。

- 次の場合、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - が表示されていないとき
  - 手順 ② で、取り外す機器が一覧にないとき

2 **マルチメディアポケット解除ボタン（A）を押し、そのまま機器をスライドさせてマルチメディアポケットから外す。**

■ マルチメディアポケット機器を取り付ける

1 **機器の両端を押しながら、奥までしっかりとマルチメディアポケットに挿入する。**

- 機器を取り付けるときは、パソコンの電源を入れておいてください。
- 黒いシート面を下にして機器を挿入してください。

お願い

- 機器は両側面を持ってください。他の部分を持つと、機器が損傷する可能性があります。
- パソコンのマルチメディアポケット側を持ち上げて、傾けた状態で機器を挿入する場合は、衝撃を与えないよう注意してください。
- パソコンを持ち運ぶときは、マルチメディアポケット解除ボタンが確実にロックされているか確認し、機器が落ちないようにしてください。
- お使いの際には必ずマルチメディアポケット機器を取り付けてください。

お知らせ

- 画面右下のタスクトレイのをダブルクリックすると、機器が認識されたかどうか確認することができます。機器が認識されない（またはメディアにアクセスできない）場合は、パソコンの電源を切り、機器を挿入し直してください。

お知らせ

- 書き出しや書き換え作業が長時間に及ぶ場合は、ACアダプターを接続しておいてください。作業中にバッテリー切れが起こると書き出しに失敗する場合があります。
- ディスクへの書き出し/書き換えには書き出し用のアプリケーションソフトをお使いください。（例：B's Recorder / B's CLiP ➔37ページ）
  ディスクと選択している書き出し速度が一致している必要があります。
- 書き込まれるデータの品質はディスクに依存します。

使用上のお願い

CD/DVD ドライブの取り扱い

- CD/DVD ドライブは、油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。レンズの寿命が短くなることがあります。
- CD/DVD ドライブのレンズのクリーニングには、カメラ用のレンズブロアーのご使用をお勧めします。（スプレー式の強力なものは使わないでください。）

トレイを開けるとき／閉じるとき

- パソコンの電源が入っているときは、ディスク取り出しボタン（➔33 ページ）を使用するか、または Windows の操作で取り出してください。
- 画面右下のタスクトレイに が表示されているときにディスクを取り出すには、 を右クリックし、［取り出し］をクリックしてください。
  ディスクの取り出しは必ず上記のように行ってください。
- ディスクを出し入れするときにはレンズ部分に触れないようにご注意ください。
- トレイを開けたまま放置したり、レンズ部分に手を触れたりしないでください。
  ゴミやほこりがレンズに付着し、データを読み取れなくなる場合があります。
- 開いた状態のトレイに無理な力をかけないでください。
- CD/DVD ドライブのすき間部分にクリップなどの異物を入れないでください。故障の原因になります。
- トレイにディスク以外のものを載せないでください。
- トレイを閉じて、マルチメディアポケット状態表示ランプ MP が消えるまでは、ドライブにアクセスしないでください。

CD/DVD ドライブアクセス中

- トレイを開けたり、パソコンを移動したりしないでください。ディスクの損傷、読み出しや書き込みの失敗、CD/DVD ドライブの故障の原因になります。
  また、ディスクにアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまで、トレイを開けたりしないでください。

ディスクの取り扱い

- 変形しているディスク、ゆがんでいるディスク、変則的な形のディスクは使用しないでください。
  ディスクの状態によっては、ディスクの読み取りが不可能な場合があります（ひび、汚れ、改造、データ記録の品質、コピー保護機能付き、ディスクの作成に使用された記録装置／ソフトウェアなど）
- 本書およびお使いのディスクの取扱説明書や包装に記載されている内容をよくお読みのうえ、ディスクをお使いください。
- ディスクを正しく取り扱わないと、ディスクが汚れたり傷ついたりして、書き込み速度が低下したり、データの記録や再生が正常に行われなくなることがあります。また、CD/DVD ドライブの故障などの損害が発生するおそれがあります。
- 以下のことをお守りください。
  - 再生／記録面に触れない
  - ディスクの表面を、ゴミやほこり、指紋などで汚したり、引っかき傷を付けたりしない
  - ディスクの表面にボールペンなどで書き込みをしない
  - ステッカーを貼らない
  - 落としたり、曲げたり、ディスクの上に重いものを置いたりしない
  - ゴミやほこりの多い場所、温度や湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かない
  - 温度差の激しい場所に置かない（結露が生じます）
    急に暖かい室内に持ち込んだときなどに露が付いたら：
    読み取り専用のディスクの場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。書き込み／書き換え可能なディスクの場合は、布でふかずにそのまま乾くまで置いておいてください。
  - ディスクを使用しないときは、必ず保護ケースまたはカートリッジに入れる

汚れを取るには

< 読み取り専用ディスクの場合 >
乾いた柔らかい布で中心から端に向かって、ふいてください。
汚れがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布で中心から端に向かってふいた後、からぶきしてください。
< 書き込み／書き換え可能なディスクの場合 >
当社製ディスククリーナーをお使いください。
布や CD 用クリーナーなどは、絶対に使わないでください。

持ち方

ディスクについて

● 以下のディスクは本機で読み出し／書き込みができます。

CD-R	CD-RW		
COMPACT disc Recordable	COMPACT disc ReWritable	COMPACT disc ReWritable High Speed	COMPACT disc ReWritable Ultra Speed

DVD-RAM*1	DVD-R	DVD-R DL	DVD-RW*2
DVD RAM	DVD R	DVD R R DL	DVD RW

+R	+R DL	+RW	
RW DVD+R	RW DVD+R DL	RW DVD+ReWritable	RW DVD+ReWritable High Speed

*1 DVD-RAM：カートリッジなしのディスク、またはカートリッジから取り出せるディスクのみ使用できます。
*2 DVD-RW Ver.1.0 には対応していません。

● 以下のディスクは本機で読み出しができます。

CD-ROM	CD DIGITAL AUDIO	CD TEXT	CD-EXTRA	Video CD	Photo CD
COMPACT disc	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO CD EXTRA TM	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	Photo CD TM

DVD-ROM	DVD-Video
DVD ROM	DVD VIDEO

■ 書き込み／書き換えの推奨ディスク

- CD-R
  日立マクセル（株）製
  三菱化学メディア（株）製
  太陽誘電（株）製
- CD-RW/High-Speed CD-RW
  三菱化学メディア（株）製
  （株）リコー製
- Ultra-Speed CD-RW
  三菱化学メディア（株）製
- DVD-R
  パナソニック（株）製
  三菱化学メディア（株）製
  太陽誘電（株）製
- DVD-R DL
  三菱化学メディア（株）製
- DVD-RW
  三菱化学メディア（株）製
  日本ビクター（株）製
- DVD-RAM
  パナソニック（株）製
  日立マクセル（株）製
- +R / +RW
  三菱化学メディア（株）製
  （株）リコー製
- High-Speed +RW
  （株）リコー製
- +R DL
  三菱化学メディア（株）製

■ 書き込みできるDVDディスク

- DVD-R for General
  1 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 2 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 4 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 8 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 16 倍速（4.7 G バイト）
- DVD-R DL
  2 ～ 4 倍速（8.5 G バイト）
  2 ～ 8 倍速（8.5 G バイト）
- DVD-RW
  1 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  1 ～ 2 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  2 ～ 4 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  2 ～ 6 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
- DVD-RAM
  2 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  2 ～ 3 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  2 ～ 5 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
- +R
  1 ～ 2.4 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 4 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 8 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 16 倍速（4.7 G バイト）
- +R DL
  2.4 倍速（8.5 G バイト）
  2.4 ～ 8 倍速（8.5 G バイト）
- +RW
  1 ～ 2.4 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 4 倍速（4.7 G バイト）
- High-Speed +RW
  3.3 ～ 8 倍速（4.7 G バイト）

DVDメディアを使用する

DVD-Video や MPEG ファイルの再生には、WinDVD などの DVD 再生ソフトウェアが必要です。(➔34 ページ)

■ リージョンコードの設定

DVD-Video には販売される地域のリージョンコードが設定されています。DVD-Video を再生するには、ディスクとドライブのリージョンコードが一致している必要があります。

例
日本・ヨーロッパ:「2」
アメリカ・カナダ:「1」

- 本機は工場出荷時にリージョンコードは設定されていません。そのため、初めて DVD-Video を再生したときは、以下のようになります。
  - **特定のリージョンコードが設定されている DVD-Video の場合:**
    DVD-Video と同じリージョンコードが自動的に設定されます。
  - **複数のリージョンコードが設定されている DVD-Video の場合:**
    リージョンコードの確認画面が表示されます。リージョンコードを選んで [OK] をクリックしてください。再生が始まります。

お願い

- リージョンコードは、最初の設定も1 回に含めて全部で5 回設定できます。5回目の設定を行うと、そのリージョンコードに固定され、システムを再インストールしてもそれ以上変更できなくなりますので、十分にお気を付けください。
- 不正にリージョンコードを改変した場合の問題については、お客さまの責任となります。

お知らせ

- ドライブのリージョンコードと異なるリージョンコードのDVD-Video をセットした場合も、リージョンコードの確認画面が表示されます。
  (一部のDVD-Video では、リージョンコードの確認画面が表示されないことがあります。ドライブに設定されているリージョンコードと残りの設定回数は、「WinDVD」の画面上で右クリックし、[セットアップ]から[リージョン(地域)] を選んで確認してください。)

ディスクのセット／取り出し

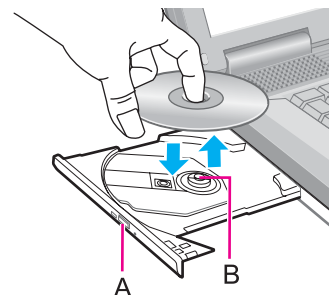
1 パソコンの電源を入れる。

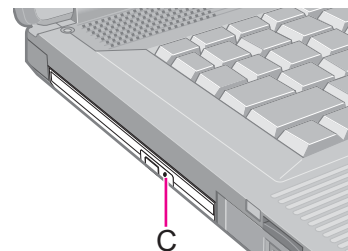
2 ディスク取り出しボタン（A）を押し、ゆっくりトレイを引き出す。

3 ディスクをセットする／取り出す。

- セットするには
  タイトル面を上にしてディスクを置き、ディスクの中心部をカチッと音がするまでしっかりと押してください。
- 取り出すには
  センターホルダー（B）に指を添え、ディスクの端を浮かせながら取り出します。

4 トレイを閉じる。

ディスク取り出しボタンは押さないでください。

お知らせ

- パソコンの電源を入れないでディスクを取り出したいときは、直径1.3 mmのピンをエマージェンシーホール（C）に挿し込んでください。（ピンの直径がこれより小さい場合は、ピンを少し下に向けて挿し込んでください。）トレイが出てきます。（エマージェンシーホールの位置はドライブによって異なります。）
- B’s Recorderをお使いの場合には、なるべく振動を抑えるように書き込み速度を[8倍速]以下に設定してください。
- 自動実行のディスクについて
  - スタンバイや休止状態からリジュームした後、ディスクをセットしても自動で再生されない場合は、15秒以上待ってからディスクを入れなおしてください。
  - セットしたディスクによっては、ファイルへのアクセス中に自動実行が開始されることがあります。
- ディスクから動画を再生したとき、滑らかに再生できないことがあります。

省電力モードについて

省電力のため、CD/DVD ドライブに約 30 秒間アクセスがないと自動的にドライブモーターの電源が切れます。CD/DVD ドライブにアクセスがあるとドライブモーターの電源が入ります。電源が入った後、実際にディスクからデータを読めるようになるまで、約 30 秒間かかります。

WinDVD は、DVD-Video 再生用のアプリケーションソフトです。詳しい WinDVD の操作方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

- DVD-Audio は WinDVD では再生できません。

WinDVDを使う

1 **デスクトップの（InterVideo WinDVD）をダブルクリックする。**

- または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [InterVideo WinDVD] - [InterVideo WinDVD for Panasonic] をクリックする。

■ オンラインヘルプを見るには

WinDVD の起動後、次のどちらかの方法で見ることができます。

- WinDVD のコントロールパネル上の「?」をクリックする。
- WinDVDの画面上で右クリックし、[ヘルプ] をクリックする。

サポート情報
「WinDVD」が正常に動作しない場合、動作環境、オペレーションについての疑問点がございましたら、まずオンラインヘルプをよくお読みください。
それでも解決しない場合は、Corel Corporation のホームページ[*1]（http://www.corel.com/）内にある問い合わせ用のフォームに必要事項を入力して送信してください。
[*1] 表示する言語を変更することができます。

お願い

- パソコンの起動直後、まだハードディスク状態表示ランプが点滅しているときは WinDVD を起動しないでください。
- WinDVD の起動中に、次の操作をしないでください。
  - スタンバイまたは休止状態に入る
  - Fn+F3 で表示先を切り替える
- 動画の再生中には、次の操作をしないでください。
  - ディスクを取り出す
  - 他のアプリケーションやコマンドプロンプトを使用する
  - 画面のプロパティを変更する

- WinDVD と他の再生ソフトを共存させないでください。
  滑らかに再生ができなくなる可能性があります。市販の DVD-Video の中には、再生時に独自の再生ソフトをインストールする仕組みになっているものがあります。このような DVD-Video で、インストール開始画面が表示された場合は、必ずインストールを中止してください。誤ってインストールし、正しく再生できなくなった場合は、次の方法をお試しください。
  - [スタート] - [コントロール パネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックしてインストールした再生ソフトをアンインストールする。（再生ソフトの名称は取扱説明書をご覧ください。）
  - 再生ソフト独自の設定で、DVD-Video 再生ソフトを指定できる場合は、WinDVD を指定する。

CPRMで録画したディスクを再生する

デジタル放送などで「1 回だけ録画可能」として放送された番組を DVD レコーダーで録画／記録した場合、WinDVD でそのディスクを再生するには、インターネットから WinDVD に CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込む必要があります。

お知らせ

- CPRMで録画したディスクを再生するには、コンピューターの管理者の権限でログオンしてください。
- CPRM Packを組み込んでいない場合は、ディスクの再生中または再生しようとすると、画面左上に [CPRMコンテンツをスキップしています] と表示され、画面がスキップされることがあります。
  WinDVDにCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込んでください。

WinDVDにCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込む

1. **コンピューターの管理者の権限でログオンして、インターネットに接続する。**
2. **デスクトップの (InterVideo WinDVD）をダブルクリックして、WinDVDを起動する。**
3. **ディスク取り出しボタンを押し、CPRMで録画したディスクをセットする。**
4. **ディスクを再生する。**
5. **「CPRMのサポートが有効になっていないため……」という画面で、[OK]をクリックする。**

6 **画面の指示に従ってユーザー登録を行い、CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムをダウンロードする。**
CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムのダウンロードおよびそのインストール方法については、コーレル株式会社へお問い合わせください。
ユーザー登録で入力した内容は、メモを取るなどして忘れないようにしてください。

ダウンロードした CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムは、再インストール時に必要になります。CPRM Pack は登録したユーザーが 20 回までダウンロードできますが、SD/SDHC メモリーカードなどの外部メディアに保存することをお勧めします。

プログラムの組み込みは、インターネットへ接続できる環境が必要です。インターネットに接続できる環境になく、CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムが必要な場合は、パナソニックパソコンお客様ご相談センターにお問い合わせください。

DVDレコーダーなどで作成したDVDの再生について

次のような制限があります。

- ディスクの状態（記録品質、傷、汚れ、変形、コピープロテクション、作成に使用した DVD レコーダーやディスクのメーカーなど）によっては、正しく読み出し／再生ができない場合があります。
- DVD-RAM 以外のディスクを再生するには、ファイナライズ（他の DVD プレーヤーなどで再生できるようにする処理）が必要です。ファイナライズの方法は、お使いの DVD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

B's Recorder/B's CLiP

「B's Recorder」および「B's CLiP」は、株式会社ビー・エイチ・エーが開発した CD/DVD 書き込みソフトウェアです。

- B's Recorder：
  CD/DVD のコピーや、音楽 CD、データ CD/DVD などの作成ができます。
- B's CLiP：
  フロッピーディスクと同じような感覚で、ディスクにデータの書き込みや書き換えを行うことができます。

詳しくはソフトウェアのユーザーマニュアルをご覧ください。(➔39 ページ)

■ 対応メディア

- CD-R*1
- CD-RW
- DVD-RAM*1 *2
- DVD-R*1
- DVD-R DL*1
- DVD-RW *3
- +R*1
- +R DL*1
- +RW

*1 B's Recorder のみ使用できます。B's CLiP によるディスクの読み取りや書き込みはできません。

*2 B's Recorder で DVD-RAM に書き込むと、その DVD-RAM は「読み取り専用」ディスクになります。
B's Recorder 以外で書き込めるようにするには、物理フォーマットが必要です。

*3 DVD レコーダーで作成した DVD-RW の読み取りや書き込みはできません。

複製について
映像・音楽などの著作物の複製は、個人的または家庭内で使用する以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

B’s Recorder/B’s CLiPを起動する

■ B’s Recorder

1 **デスクトップの（B’s Recorderメインウィンドウ）をダブルクリックします。**

- または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [B.H.A] - [B’s Recorder GOLD9] - [B’s Recorder GOLD9]（B’s Recorderメインウィンドウ）／[タスゲート]（ラウンチャー）をクリックします。

■ B’s CLiP

B’s CLiP はパソコンの起動と同時に起動し、画面右下のタスクトレイに「B’s CLiP」アイコン（次のいずれか）が表示されます。

: ディスクが入っていない場合、または B’s CLiP 以外でフォーマットしたディスクが入っている場合

: B’s CLiP でフォーマットしたディスクが入っている場合

: CD/DVD ドライブが接続されていない場合

お願い

B’s Recorder

- Windows をログオフする前に、必ず B’s Recorder を終了してください。
  終了しないと、次回 Windows にログオンしたときに B’s Recorder が正常に起動しない場合があります。その場合はパソコンを再起動してください。

B’s CLiP

- B’s CLiP は、ユーザーの簡易切り替え機能に対応していません（画面右下のタスクトレイにまたはが表示されなくなります）。すべてのユーザーをログオフしてから、使用したいユーザーで Windows にログオンしなおしてください。
- Windows のコピー中の表示が消えた後でも、ディスクへの読み書き直後はディスクの取り出しは行わないでください。
- 画面右下のタスクトレイにが表示されている場合は、スタンバイ・休止状態に入ることができません。
- CD/DVD ドライブの[プロパティ] - [書き込み]にある[このドライブでCD書き込みを有効にする]にチェックマークを付けないでください。チェックマークを付けると、B’s CLiP でディスクに書き込めなくなります。
- DVD-RW は、UDF1.5/UDF2.0/UDF2.01 形式でフォーマットすることが可能ですが、作成したディスクを DVD レコーダーで使用することはできません。

- B's CLiP で +RW ディスクのフォーマットを行うと、見かけ上短時間で終了しますが、実際は未フォーマット部分を自動的にフォーマットするバックグラウンドフォーマットが働いています。そのため、マルチメディアポケット状態表示ランプ MP は点灯したままです。
  バックグラウンドフォーマット中は
  - ディスクの書き込み／書き換えは可能です。
  - マルチメディアポケット機器状態表示ランプ MP が点灯していても、ディスクの取り出しは可能です。
    ディスクを取り出す場合や、バックグラウンドフォーマット中に本機を持ち運ぶ場合は、タスクトレイのを右クリックし、[取り出し] をクリックしてディスクを取り出してください。
  - 取り出したディスクのフォーマットが完了していなかった場合、ディスクをドライブに戻すと、バックグラウンドフォーマットが再開されます。バックグラウンドフォーマットは、フォーマットが完了するまで続きます。

■ ユーザーマニュアルを見るには

B's Recorder

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [B.H.A] - [B's Recorder GOLD9] - [マニュアル] - [ユーザーズマニュアル]（ユーザーマニュアル）／[タスゲート]（タスゲートのマニュアル）をクリックします。.

B's CLiP

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [B.H.A] - [B's CLiP] - [ユーザーズマニュアル]をクリックします。

サポート情報

- ユーザー登録について
  次の手順でユーザー登録ができます。
  1　インターネットに接続できる状態で、B's Recorder を起動する。
  2　[ヘルプ] - [関連サイト情報] - [オンラインユーザー登録] をクリックする。以降、画面の指示に従ってください。
- B's Recorder および B's CLiP が正常に動作しない場合、動作環境、オペレーションについての疑問点がございましたら、まずユーザーマニュアルをよくお読みください。それでも解決しない場合は、株式会社ビー・エイチ・エーにお問い合わせください。（お問い合わせの前にユーザー登録が必要です。）
- Web サイト
  サポートページ http://help.bha.co.jp
  ホームページ http://www.bha.co.jp
- 株式会社ビー・エイチ・エー　テクニカルサポートセンター
  Windows 用製品向け代表番号
  電話：06-4861-8234
  お問い合わせ時間帯：月～金曜日　10:00 ～ 12:00、　13:00 ～ 17:00
  （夏季・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

起動（ブート）可能なCD/DVDを作成する

B’s Recorder を使用して CD/DVD ドライブからシステムを起動（ブート）できる CD/DVD を作成できます。

- 以下の手順で CD/DVD を作成してください。
  詳細については、B’s Recorder のユーザーマニュアルをご覧ください。（➔39 ページ）

1. **B’s Recorderを起動する（➔38ページ）。**
2. **CD/DVD ドライブに未使用のディスクをセットする。**
3. **起動（ブート）に使用するデータをデータウェルに登録する。**
4. **[トラックの種類]にある[01 データ(MODE1)]をダブルクリックする。**
5. **[ブータブルCD/DVD]の項目で[汎用的な起動ディスクイメージより作成]をクリックする。**
   - お使いの機種によっては、[ブータブル CD/DVD] が [ブータブル CD] と表示されます。
6. **[OK]をクリックし、[書込み]をクリックする。**
7. **[開始]をクリックする。**

■ 起動イメージの変更

1. **B’s Recorderを起動して、[ファイル] - [環境設定] - [起動ディスク]をクリックする。**
2. **[フロッピーディスクイメージの管理]で必要な起動ディスクイメージを選び、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- 起動ディスクイメージは、「c:¥Program Files¥B’s Recorder GOLD9」フォルダーに保存されています。

■ 起動ディスクイメージについて

B’s Recorder で使用可能な起動ディスクイメージとしては、次の 6 種類が用意されています。

ディスクイメージ	内容	B’s リストアプログラム [*4]
BSDOS1.BIN	本機で起動（ブート）可能なイメージ（本機専用）	なし
BSDOS2.BIN		有り
BSDOS3.BIN	本機および ATAPI で接続されたドライブで起動（ブート）可能なイメージ	なし
BSDOS4.BIN		有り
BSDOS5.BIN	ATAPI で接続されたドライブで起動（ブート）可能なイメージ（本機では使用できません）	なし
BSDOS6.BIN		有り

[*4] B’s Recorder の「HDD バックアップ」機能でバックアップしたデータを戻す（リストアする）プログラム。

お知らせ

- 工場出荷時は、本機で起動可能なイメージ（BSDOS1.BIN、BSDOS2.BIN）が選択されています。
- 起動ディスクイメージBSDOS3.BIN、BSDOS4.BINで作成したディスクを使って起動（ブート）すると、次のいずれかのメッセージが表示されますが、問題はありません。

  本機で起動（ブート）する場合
  • CD-ROM Drive is not ready, aborting installation.
  USBのドライブが接続されたパソコンで起動（ブート）する場合
  • Not found CD-ROM !!
  • Check CD-ROM power and IDE cable.
  • CD-ROM drive is not available.

次のカードを挿入することができます。

- エクスプレスカードスロット（A）：ExpressCard/34 または ExpressCard/54
- PC カードスロット（B）：PC カードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）

お知らせ

- 下記のカードは使えません。
  PCカードタイプⅢ（10.5 mm）、ZVカード、SRAMカード、FLASH ROMカード（ATAインターフェースタイプを除く）、その他の動作電圧12Vを必要とするカード
- ストレージタイプのCardBus PC カードを取り付けた状態で Windows を起動しないでください。エラーの原因になります。
- 工場出荷時、エクスプレスカードスロットとPCカードスロットにはダミーカードが挿入されています。
  それぞれのスロットを使用する前に、ダミーカードを取り外してください。（➔43ページ手順2）
- スロットを使わないときは、保護のためそれぞれのダミーカードを挿入してください。このとき、エクスプレスカードスロットにPCカードスロット用のダミーカードを挿入したり、PCカードスロットにエクスプレスカードスロット用のダミーカードを挿入したりしないでください。正しいダミーカードを挿入しないと、パソコンが誤動作することがあります。

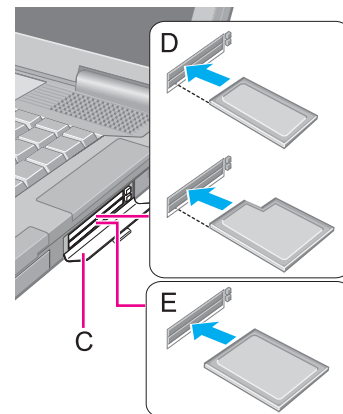
カードの取り付け／取り出し

準備

- カードのドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。
- ダミーカードが挿入されていたら、取り外してください。

■ カードを取り付ける

1 **カバー（C）を開け、エクスプレスカード（D）またはPCカード（E）を、ラベル面を上にしてスロットの奥までしっかりと挿入する。**

- 詳しくはカードの取扱説明書をご覧ください。

■ カードを取り出す

1 **カードの停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイのをダブルクリックし、カードを選択して[停止]をクリックする。

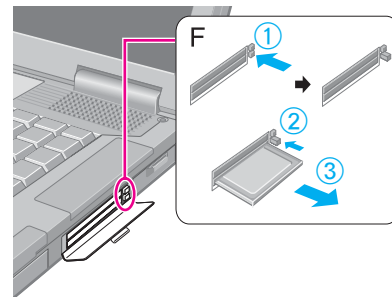
② 画面の指示に従って操作を行う。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 **カバーを開けて、カードを取り出す。**

① 取り出しボタン（F）を押す。取り出しボタンが飛び出します。

② 再度取り出しボタン（F）を押す。カードがスロットから出てきます。

③ カードをまっすぐ引き抜く。

お知らせ

- カードの定格を確認して、動作電流がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  許容電流：3.3 V：400 mA、5 V：400 mA
- カードによっては同時に使用できない場合があります。
- カードの取り付け／取り出しを繰り返していると、認識されなくなることがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後で、パソコンが動作しなくなったときは、カードの出し入れを行ってください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。
- カード挿入時は、電力消費量が増加します。カードを使用していないとき、特にバッテリー駆動で操作しているときは、PCカードを取り外しておいてください。
- PCカードやエクスプレスカードを使って周辺機器（SCSI、IEEE1394など）を接続する場合は、下記の手順に従ってください。（手順は一例です。）
  ① 周辺機器をカードに接続する。
  ② 周辺機器の電源を入れる。
  ③ スロットの奥までしっかりとカードを挿入する。

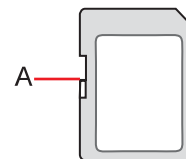
SDメモリーカードについて

- 本機の SD メモリーカードスロットは、SD メモリーカードと SDHC メモリーカード（2 GB を超える容量を持つ SD メモリーカード）に対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- miniSDメモリーカードおよびmicroSDメモリーカードを使う場合は、必ず専用のminiSDメモリーカードアダプターまたはmicroSDメモリーカードアダプターに装着し、アダプターごと抜き挿ししてください。スロット内にアダプターを残さないでください。
- SD メモリーカードは、インターネットなどのコンテンツ配信サービスに対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- 本機で SD メモリーカードをフォーマットする場合は、Windows の「フォーマット」ではなく、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いください。
  このソフトウェアは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html
- 他の機器で SD メモリーカードを使う場合は、その機器でカードをフォーマットしてください。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

取り扱いおよび保管上のお願い

- パソコンから SD メモリーカードを取り出した後は、ケースに入れて保管してください。
- 次のことを行わないでください。
  - 分解や改造
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 端子部に指や金属で触れる
  - 貼られているラベルをはがしたり、新たにラベルやシールを貼る
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたるところや車内など、温度が高くなるところ
  - ほこりの多いところや湿度の高いところ
  - 腐食性のガスなどが発生するところ

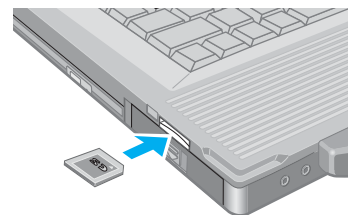
データの取り扱い上のご注意

- カードの書き込み禁止スイッチ（A）を「LOCK」側にしてください。データの録音（チェックアウト）、保存、編集などをするときには解除してください。
- 大切なデータは他のメディアにもバックアップしておくことをお勧めします。
- 廃棄するときは、個人データなどの流出を防ぐために、金槌などで物理的に破壊することをお勧めします。

SDメモリーカードの取り付け／取り出し

お願い

- Windowsのログオン画面またはデスクトップ画面が表示されるまで、SDメモリーカードの取り付け／取り出しは行わないでください。
- 次の場合は、カードを取り出したりパソコンの電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。
  - スタンバイまたは休止状態のとき
  - SDメモリーカード状態表示ランプ(SD)が点灯または点滅しているとき
  - データの読み出し中または書き込み中
  - 書き込み操作の直後
    書き込み操作の直後は、パソコンがカードにアクセスを続けていることがあります。操作が完了する前にカードを取り出すと、データが壊れたり、カードに正常にアクセスできなくなるおそれがあります。
- お客さまが記録したデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無理にカードを引き抜かないでください。スロットが傷つく場合があります。
- カードは正しい向きに挿入してください。誤って挿入すると、カードとスロットが損傷する場合があります。
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後、約30秒間はSDメモリーカードにアクセスしないでください。

■ カードを取り付ける

1 **SDメモリーカードのラベル面を上にして、角が欠けた方から挿入する。**

■ カードを取り出す

準備

- データを保存し、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- SD メモリーカード状態表示ランプSD（B）が消えていることを確認してください。

1 カードの停止処理を行う。

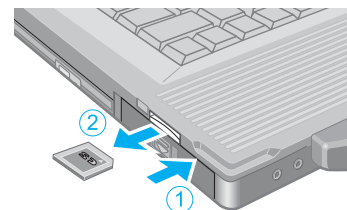
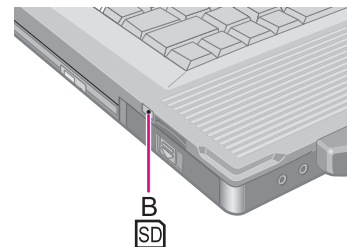
① 画面右下のタスクトレイのをダブルクリックして、[SD 記憶装置デバイス]をクリックし、[停止]をクリックする。

② 画面の指示に従って操作を行う。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 カードを取り出す

① カードを押す。
スロットからカードが出てきます。

② カードをまっすぐ引き抜く。

RAM モジュール

下記の仕様に適合する RAM モジュールを使用してください。他のモジュールを使うと、正常に動作しないだけでなく、故障の原因になることがあります。

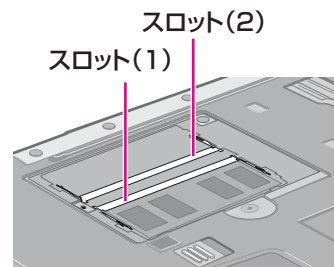
- RAM モジュール仕様：
  200 ピン、SO-DIMM、1.8 V、DDR2 SDRAM、PC2-6400
- 推奨品：
  品番：CF-BAM1024U（推奨品については、当社の最新のカタログやホームページでご確認ください。）

お願い

- RAMモジュールは、静電気の影響を非常に受けやすいため、人間の体内に蓄積された静電気により損傷する場合があります。RAMモジュールの取り付け・取り外しの際には、本体内部の部品や端子に触れないようにし、異物がスロットに入らないようにしてください。機器が破損したり、火災、感電の原因になります。

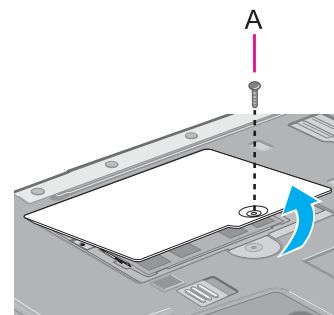
RAMモジュールの取り付け／取り外し

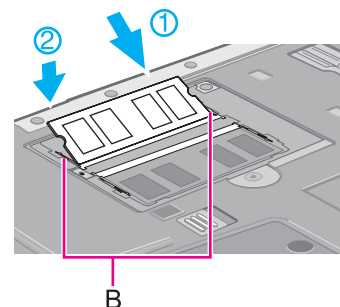
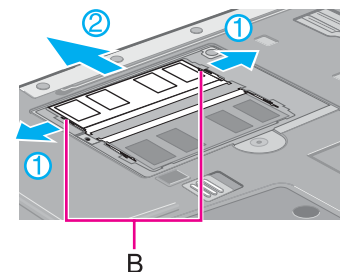
本機には RAM モジュールスロットが 2 つあります。

スロット（1）：工場出荷時に RAM モジュールが取り付けられているスロット
スロット（2）：増設 RAM モジュールを取り付けるスロット（機種によっては、工場出荷時に RAM モジュールが取り付けられています。）

1　パソコンの電源を切る。

- スタンバイ機能や休止状態機能は使わないでください。

2　ACアダプターとバッテリーパックを取り外す。(➔17ページ)

3　パソコン底面のネジ（A）とカバーを取り外す。

4 **RAMモジュールを取り付ける／取り外す。**

- 取り付けるには
  ① モジュールを少し傾け、スロットに挿入する。
  ② 左右のフック（B）でロックされるまでモジュールを倒す。
- 取り外すには
  ① 左右のフック（B）をゆっくり開く。
  モジュールが持ち上がります。
  ② モジュールをゆっくりとスロットから取り外す。

5 **カバーとバッテリーパックを取り付ける。**

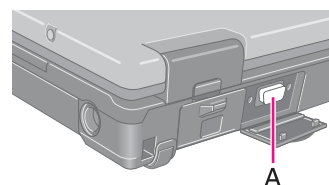
お願い

- ネジをしっかり締めて、カバーをきちんと固定してください。

お知らせ

- 挿入しにくい、または倒しにくい場合は、無理に力を加えず、モジュールの方向を再度確認してください。
- ネジ山をつぶさないよう、適切なドライバーを使用してください。
- RAMモジュールが正しく認識されている場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューにメインユニットとRAMの合計メモリーサイズが表示されます。（➔73ページ）
  RAMモジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。

外部ディスプレイ

画面の表示先を外部ディスプレイに切り替えることができます。
外部ディスプレイを外部ディスプレイコネクター（A）に接続してください。

お知らせ

- スタンバイ・休止状態からのリジューム後または再起動後の表示先は、スタンバイ・休止状態に入る前または再起動前と異なる場合があります。
- Windowsの起動後に表示先を切り替える場合、切り替えが完了するまでキーに触れないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使用してユーザーを切り替えると、表示先をFn+F3で切り替えられなくなることがあります。その場合はすべてのユーザーをログオフし、パソコンを再起動してください。
- スタンバイ・休止状態のときに、外部ディスプレイを接続したり取り外したりしないでください。
- 接続するディスプレイによっては、表示の切り替えに時間がかかることがあります。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部LCDのみ、または同時表示をする場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、解像度、リフレッシュレートを設定してください。
  設定によっては、外部ディスプレイ画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されない場合があります。その場合は設定値を下げてください。
- 同時表示しているときは、DVD-Video、MPEGファイルなどの動画がスムーズに再生されない場合があります。
- 外部ディスプレイの取扱説明書をよくお読みください。
- プラグアンドプレイに対応していない外部ディスプレイを接続する場合は、下記メニューで適切なドライバーを選択するか、外部ディスプレイに付属のドライバーディスクを使用してください。
  [スタート] - [コントロール パネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ] - [ドライバ] - [ドライバの更新]
- 画像が正しく表示されない場合は、下記メニューで[ハードウェアアクセラレータ]の値を下げてください。
  [スタート] - [コントロール パネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [トラブルシューティング]

お願い

- 外部ディスプレイを取り外す前に、 Fn+F3を押して内部LCDに切り替えてください。切り替えをしないと、取り外す前と後で画質が異なる場合があります（解像度が正しくないなど）。その場合は、 Fn+F3を押して画質をリセットしてください。
- 次の操作を行うと、画面が乱れる場合があります。その場合はパソコンを再起動してください。
  - 高解像度または高リフレッシュレートに設定した外部ディスプレイを取り外す
  - パソコン操作中に外部ディスプレイの接続や取り外しを行う

表示先を切り替える

1 **Fn+F3を押す。**

押すたびに、以下のように切り替わります。

内部LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ

拡張デスクトップモードを使う

拡張デスクトップモードでは、内部 LCD と外部ディスプレイをひと続きの作業領域として使うことができます。内部 LCD と外部ディスプレイの両方に渡ってオブジェクトをドラッグすることができます。

1 **[スタート] - [コントロール パネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定]をクリックする。**

2 **ディスプレイ[2]をクリックし、[Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする]にチェックマークを付け、[適用]をクリックする。**

すでにチェックマークが付いている場合は、いったんチェックマークを外し、再びチェックマークを付けてください。

3 **各ディスプレイの各項目を設定する。**

4 **[OK]を選ぶ。**

お知らせ

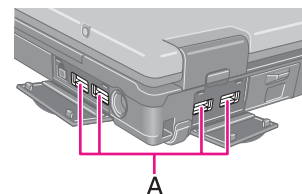
- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンをクリックすると、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
- Fnキーの組み合わせを押すと表示されるポップアップウィンドウは、プライマリーデバイスにのみ表示されます。

USB機器の取り付け／取り外し

準備

ドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。

■ USB機器を取り付ける

1 **カバーを開け、USB機器をUSBポート（A）に接続する。**
詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

■ USB機器を取り外す

1 **USB機器の停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイのをダブルクリックし、USB機器を選んで[停止]をクリックする。
② 画面の指示に従って操作を行う。
● 次の場合、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - が表示されていないとき
  - 手順 ① で、取り外す機器が一覧にないとき

2 **USB機器を取り外す。**

お知らせ

- USB機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB機器を別のUSBポートに接続し直すときは、ドライバーのインストールが再度必要になる場合があります。
- USB機器が接続されていると、スタンバイ機能や休止状態機能が正常に働かない場合があります。パソコンが正常に起動しない場合は、USB機器を取り外し、パソコンを再起動してください。
- パソコンの電源が入っているときにUSB機器を抜き挿しすると、がデバイスマネージャに表示され、機器が正しく認識されないことがあります。その場合は、機器を再度抜き挿しするか、パソコンを再起動してください。
- USB機器が接続されていると、電力消費量が増加します。特にバッテリー駆動で操作しているときは、使用していないUSB機器を取り外しておいてください。

IEEE1394機器

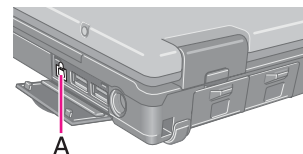
デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 対応機器を接続することができます。

■ IEEE1394機器を接続する

準備

ドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。

1 **パソコンとIEEE1394機器の電源を入れる。**

2 **カバーを開け、IEEE1394コネクター（A）にIEEE1394機器を接続する。**
詳しくはIEEE1394機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- IEEE1394機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはIEEE1394機器の取扱説明書をご覧ください。

■ IEEE1394機器を取り外す

お願い

- 必ずパソコンの電源を切ってからIEEE1394機器の電源を切ってください。

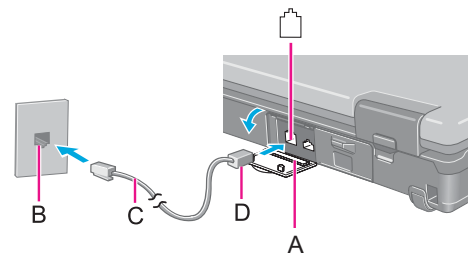
1 **パソコンの電源を切り、IEEE1394コネクターからケーブルを取り外す。**

2 **IEEE1394機器の電源を切り、ケーブルを取り外す。**

内蔵モデムと電話コンセントを接続する

1 **カバー（A）を開け、モジュラーケーブル（C）を使って、電話コンセント（B）に接続する。**

- 突起部（D）の形がコネクターに合うようにし、カチッと音がするまで挿入してください。

2 **[スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [電話とモデムのオプション]をクリックし、必要に応じて設定を変える。**

お知らせ

- 通信中は、スタンバイ機能や休止状態機能を使わないでください。
- ケーブルを取り外すときは、突起部（D）を押さえたまま引き抜いてください。
- モデムは一般電話回線で使用してください。
- 本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

モデムリングリジューム機能

モデムに接続した回線に電話がかかると、パソコンがスタンバイ状態からリジュームします。
この機能を使うには、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアが必要です。また、リジュームした後パソコンをスタンバイ状態に戻す場合もソフトウェアが必要です。詳しくはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

■ モデルリングリジューム機能を有効にする

1 **[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [モデム]をクリックし、内蔵モデムをダブルクリックする。**

2 **[電源の管理]をクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

■ パソコンがスタンバイ状態に戻る時間を設定する

通信が完了していなくても、設定時間が経過するとパソコンはスタンバイ状態に入ります。[なし] に設定しておくと、通信の途中でスタンバイ状態に入ることはありませんが、リジュームした後スタンバイ状態に戻りません。

① [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定]をクリックする。

② 通信時間を予測して、スタンバイ状態に戻る時間を設定する。

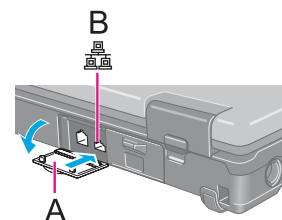
お知らせ

- パソコンの電源がオフのとき、または休止状態のときは、この機能は使えません。
- AC アダプターを接続してください。
- スタンバイ状態からリジュームした後も、画面は暗いままです。キーボードまたはフラットパッドに触れると、元の画面が表示されます。
- 内蔵モデムに接続されている電話以外ではリジュームできません。(PCカードモデムなどは使えません。)
- パソコンが起動するのに時間がかかるため、通常より呼び出し時間を長く設定してください。送信側で呼び出し音を長く設定できない場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアで、着信までのベル回数を少なく設定してください。

LANを接続する

1 **パソコンの電源を切る。**
- スタンバイ機能や休止状態機能は使わないでください。

2 **カバー（A）を開けて、ケーブルを接続する。**
LANケーブルを使って、LANコネクター（B）とネットワークシステム（サーバーやハブなど）を接続します。

3 **パソコンの電源を入れる。**

■ ローカルエリア接続の状態を確認する

① [スタート] - [接続] - [すべての接続の表示]をクリックする。

Power On by LAN機能／Wake Up from LAN機能

お知らせ

- Wake Up from LAN機能を有効にしていると、パソコンがスタンバイ・休止状態のときやパソコンの電源が切れている状態でも電力を消費します。必ずACアダプターをお使いください。
  Wake Up from LAN機能を使わない場合は、この機能を無効にしてください。（➔58ページ）
- セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合でも、起動やリジュームの際にパスワードの入力は必要ありません。
- 次の場合はPower On by LAN機能は働きません。
  - 電源スイッチを4秒以上押してパソコンの電源を切ったとき（フリーズした後など）
  - ACアダプターとバッテリーパックをいったん取り外し、再度パソコンに取り付けたとき
- スタンバイ状態からリジュームしたとき、画面は暗いままです。キーボードまたはフラットパッドに触れると、元の画面が表示されます。

Power On by LAN機能を有効にする

内蔵 LAN コネクター経由でネットワークサーバーからアクセスすると、自動的にパソコンの電源が入ります。

1 **セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Power On by LAN機能」を「許可」に設定する。(➔75ページ)**

2 **「[重要] お知らせ」画面で、Enterを押す。**

3 **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

4 **コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。**

5 **[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [ネットワーク アダプタ]をクリックし、[Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。**

6 **[プロパティ]の[PMEをオンにする]をクリックし、[値]で[オン]を選択し、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- ネットワーク上の他のパソコンからアクセスがあると、パソコンが起動する場合があります。意図しないパソコンからのアクセスによる起動を防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [ネットワーク アダプタ]をクリックし、[Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。
  ② [プロパティ]の[Wake On 設定]をクリックし、[値]で[Wake on Magic Packet]を選んで[OK]をクリックする。
- Windowsを強制終了すると、Power ON by LAN機能は働きません。

Wake Up from LAN機能を有効／無効にする

内蔵 LAN コネクター経由でネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスタンバイ状態や休止状態から自動的にリジュームします。
Wake Up from LAN 機能は、次の手順で有効／無効の切換ができます。

1 **[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [ネットワーク アダプタ]をクリックし、[Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。**

2 **[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]を選び、[OK]をクリックする。**

- 上記 2 つの項目のオン／オフ設定は同時に行うことをお勧めします。

お知らせ

- ネットワーク上の他のパソコンからアクセスがあると、パソコンがリジュームする場合があります。
  意図しないパソコンからのアクセスによるリジュームを防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [ネットワーク アダプタ]をクリックし、[Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。
  ② [管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

無線通信をオン／オフする

次の 4 通りの方法で、無線機器のオン／オフをすることができます。

- 無線切り替えスイッチで切り替える（下記）
- 無線切り替えユーティリティを使う（➔60 ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューの設定を変更する（➔75 ページ）
- 無線接続無効ユーティリティで設定する（➔61 ページ）

お知らせ

- 無線LANについて詳しくは：（➔63ページ）
- Bluetoothについて詳しくは：（➔67ページ）
- LANケーブルの抜き差しにより無線接続を有効にしたり無効にしたりすることもできます。（➔61ページ）

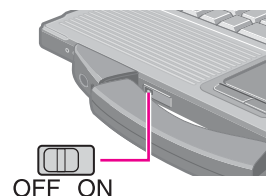
無線切り替えスイッチで切り替える

■ すべての無線通信を無効にするには

1　無線切り替えスイッチをOFF側にスライドする。

■ 無線通信を有効にするには

1　無線切り替えスイッチをON側にスライドする。

- 工場出荷時は、無線切り替えスイッチを ON にすると、すべての無線機器が有効になるように設定されています。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティをアンインストールした場合は、あらかじめ無線切り替えスイッチをONの位置にしておいてください。
- 無線切り替えスイッチの入／切を連続して繰り返し行わないでください。
- 無線切り替えスイッチ入／切の直後に、再起動やログオフをしたり、スタンバイ・休止状態に入ったりしないでください。
- Windowsの起動中は、無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。
- 無線LAN/Bluetoothを使うには
  - セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」／「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔75ページ）
  - [ワイヤレス ネットワーク接続]を[有効にする][*1]に設定してください。
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線スイッチ」を「無効」に設定する（➔75ページ）と、画面右下のタスクトレイに無線切り替えユーティリティアイコンが表示されなくなります。すべての無線機器（無線LAN/Bluetooth）は、無線切り替えスイッチの状態とは関係なく、使用できる状態になります。
- 無線切り替えスイッチを切にしてから無線通信がオフになるまで、時間がかかることがあります。
- [デバイス マネージャ]でIEEE802.11a設定を変更すると（➔65ページ）、それにともない状態表示も変わります。

*1 [スタート] - [コントロール パネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ネットワーク接続] をクリックして、[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックする。

無線切り替えユーティリティを使う

無線切り替えユーティリティにより、無線切り替えスイッチの働きの設定ができます。また、画面右下のタスクトレイのアイコンを使って無線接続（無線 LAN/Bluetooth）を有効／無効にすることもできます。

■ 無線切り替えユーティリティアイコン

画面右下のタスクトレイに「無線切り替えユーティリティアイコン」が表示され、無線通信の状態を示します。

- : 無線機器がオンのとき
- : 無線機器がオフのとき
- : 無線機器がセットアップユーティリティで無効になっているとき

■ 無線機器を個別にオン／オフする

1 **画面右下の「無線切り替えユーティリティアイコン」をクリックし、ポップアップメニューを表示する。**

2 **メニューを使って、無線機器のオン／オフを切り替える。**

■ 無線切り替えスイッチの働きを選択する

工場出荷時の設定では、無線切り替えスイッチを切にすると、切にする直前の各無線機器のオン／オフの状態が保存されます。再び無線切り替えスイッチを入にすると、無線機器を切にする直前のオン／オフの状態に戻ります。この設定は変更することができます。

[毎回ダイアログを表示してオンするデバイスを選択する]
無線切り替えスイッチをONにしたとき「無線切り替えユーティリティ」画面が表示されます。その画面で無線機器ごとにオン／オフを設定し、[OK]をクリックしてください。（オン／オフの設定は、[OK]をクリックするまで有効にはなりません。）

[以下のデバイスをオンする]
無線切り替えスイッチをONにしたときにオンにしたい無線機器を選択してください。

[無線切り替えスイッチをオフした時のデバイスの状態に戻す]（工場出荷時の設定）
無線切り替えスイッチをONにしたとき、最後に無線切り替えスイッチをOFFにしたときのオン／オフ設定が選択されます。

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（またはをクリックし、[設定]をクリックする。**

2 無線切り替えスイッチに割り当てたい設定を選択する。

3 [OK]をクリックする。

無線接続無効ユーティリティを使う

本機に LAN ケーブルを接続したときに、自動的に本機の無線 LAN がオフになります。
この機能を使うには、インストールが必要です。

無線接続無効ユーティリティをインストールする

1 コンピューターの管理者の権限でWindows にログオンする。

2 [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥wdisable¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックして、画面の指示に従って操作を行う。

無線接続の状態を調べる

お知らせ

- 無線接続無効ユーティリティが正しく動作するためには、無線切り替えユーティリティもインストールされている必要があります。本機では、工場出荷時に無線切り替えユーティリティがインストール済みです。
- 無線接続無効ユーティリティを使うときは、セットアップユーティリティの[詳細]メニューで[無線スイッチ]を[有効]に設定してください。
- 無線接続無効ユーティリティにより、Bluetoothを自動的に無効にすることはできません。

■ 無線接続の状態を確認する

無線接続無効ユーティリティをインストールすると、ログイン時に自動的に起動し、画面右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。

 : 無線接続無効ユーティリティが働いています。

- LANケーブルが接続されていて、無線接続は無効になっています。

 : 無線接続無効ユーティリティが働いています。

- LANケーブルが接続されていないので、無線接続が有効になっています。

: 次のいずれかの状態です。

- 無線接続無効ユーティリティは LAN ケーブルの接続状態を監視していない
- 無線切り替えユーティリティが起動していない
- 有線 LAN が認識されていないか、デバイスマネージャで無効に設定されている

■ メニューを使う

無線接続無効ユーティリティのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。

✓ LANケーブル監視 : オン (O)
LANケーブル監視 : オフ (F)
バージョン情報 (V)
終了 (X)

表示されたメニューの項目をクリックして、無線接続無効ユーティリティの動作を切り替えることができます。

LAN ケーブル監視 : オン
無線接続無効ユーティリティが働き、LAN ケーブルを接続すると無線接続が無効になります。

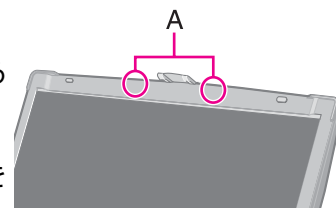
LAN ケーブル監視 : オフ
無線接続無効ユーティリティは働かず、LAN ケーブルを接続する、しないにかかわらず無線接続は有効のままです。

終了
無線接続無効ユーティリティを終了し、無線接続を有効にします。

お願い

- **無線LANを通じてパソコンに無断アクセスされないようにするには**
  無線LANをご使用になる前に、暗号化などのセキュリティ設定を行うことをお勧めします。設定をしないと、共有ファイルなどハードディスク上のデータに無断でアクセスされる危険性があります。

お知らせ

- 通信は無線LANアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線LANが使えなくなる場合があります。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- 無線LANを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔75ページ）

無線LAN機能を使う

無線 LAN をお使いになる前に、無線 LAN 通信をオンにしてください。

無線LAN通信をオン／オフする

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、無線LANをオン／オフする。(➔59ページ)**

本機のネットワークの設定

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、無線LANをオンにする。(➔59ページ)**

2 **画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」(　または　)をクリックする。**

- 　をクリックして [ワイヤレスネットワーク接続の状態] 画面が表示された場合は、[ワイヤレスネットワークの表示] をクリックしてください。

3 **アクセスポイントに接続する。**

- 無線 LAN アクセスポイントに接続できるかどうか、次の操作で確認できます。
  詳しくは、無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

① 無線LANアクセスポイントの電源を入れて設定する。

② 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」　をクリックして確認する。

無線LANの規格IEEE802.11a（802.11a）の設定

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（5.2 GHz/5.3 GHz 帯無線 LAN/J52、W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線切り替えスイッチを入にして本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定してください。

1 **画面右下のタスクトレイの または をクリックする。**

2 **[802.11a 有効]または[802.11a 無効]をクリックする。**

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（ または ）は、IEEE802.11aの設定ではなく、無線LANおよびBluetoothのオン／オフ状態を示しています。
- パソコンがIEEE802.11b/gアクセスポイントに接続されているときに、IEEE802.11aを有効または無効にすると、一時的に通信が途切れることがあります。
- [デバイス マネージャ] でも IEEE802.11a の設定を変更することができます。

  ① [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] をクリックする。
  ② [ネットワーク アダプタ] をクリックし、[Intel(R) Wireless WiFi Link 5100] をダブルクリックする。
  ③ [詳細設定] をクリックし、[プロパティ] の [ワイヤレス モード] をクリックする。
  ④ [値] の [デフォルト値使用] からチェックマークを外し、設定（[802.11a および 802.11g] など）を選択する。
  ⑤ [OK] をクリックする。

  無線切り替えユーティリティのポップアップウィンドウでIEEE802.11aを有効または無効にすると、[デバイス マネージャ] の設定により下記のように切り替わります。

デバイスマネージャの設定	無線切り替えユーティリティの設定	
	IEEE802.11a が有効のとき	IEEE802.11a が無効のとき
[802.11a、802.11b、802.11g] [802.11b と802.11g]	a+b+g が有効	b+g が有効
[802.11g のみ] [802.11a と802.11g]	a+g が有効	g が有効
[802.11aのみ] [802.11bのみ]	a が有効	b が有効

無線LANネットワークの状態を確認する

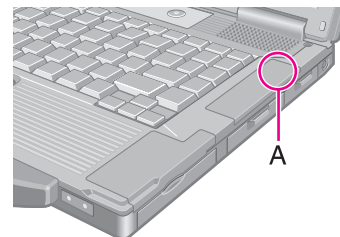
1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**
ツールチップが表示されます。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティのアイコン（ と ）は、IEEE802.11aの設定ではなく、無線通信のオン／オフの状態を示しています。
- [デバイス マネージャ]で設定を変更すると、それにともない状態表示も変わります。

ケーブルを接続しないで、インターネットや他の Bluetooth 機器にアクセスすることができます。

お知らせ

- 通信はBluetoothアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- Bluetoothを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔75ページ）
- Bluetoothのドライバーをアンインストールしたときは、Bluetoothを切にしてください。

Bluetooth機能を使う

Bluetooth をお使いになる前に、Bluetooth 通信をオンにしてください。

Bluetooth通信をオン／オフする

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、Bluetoothをオン／オフする。（➔59ページ）**

Bluetoothの通信状態を確認する

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**
ツールチップが表示されます

■ オンラインマニュアルにアクセスする

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [ユーザーズ ガイド]をクリックする。**

ネットセレクター機能

自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合、本機にインストールされているネットセレクターが便利です。

■ ネットセレクターはこんなときに使う

- ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える
  例えば、自宅では ADSL、会社では LAN、出張先では別の LAN を使っている場合でも、ネットワークの設定（ネットワークプリンターを含む）を簡単に切り替えられます。
- プロバイダーやアクセスポイントなどの接続先を頻繁に切り替える
  例えば、プロバイダーは 1 つだが、出張が多くてその都度アクセスポイントを選択する場合でも、簡単にアクセスポイントの選択ができます。

■ ネットセレクターでできること

ダイヤルアップ	● ダイヤルアップ登録したインターネット接続設定などがネットセレクターの画面から使えます。
ネットワーク	● 会社などで使われているネットワークの設定を 9 件まで登録することができます。 ● 現在使用中の設定内容をそのまま登録することができます。 ● 通常使うプリンターに設定されているプリンターも、そのまま登録することができます。 ● ネットセレクターの画面からネットワークの設定や登録もできます。
接続方法	● LAN、無線 LAN、LAN ＋無線 LAN の 3 種類から選ぶことができます。

ネットワークへの接続方法や接続先を切り替える

あらかじめ、モデム、LAN または無線 LAN など、ネットワークに接続できる設定にしておいてください。

1 **ネットセレクターを表示する。**

画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」をクリックする。

- ネットワーク関係の情報を収集するのに時間がかかり、ネットセレクターの起動が遅くなることがあります。
- パソコンを起動した後、初めてネットセレクターを起動した場合は、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。2回目以降は、前回使用していた画面（[接続方法] または [ネットワーク設定]）が表示されます。

2 **[接続方法]または[ネットワーク設定]をクリックする。**

3 **接続アイテムをクリックし、 をクリックする。**

4 **インターネットやメール、ネットワークなどを利用する。**

- ダイヤルアップ接続を切断するときは

① 画面右下のタスクトレイの をクリックする。

② [接続方法]画面のメニューボタンから をクリックする。

お知らせ

- 全機能を利用できるのは、Internet Explorer 5.5/6.0、Outlook Express 5.5/6.0に限ります。
- Internet ExplorerやOutlook Expressでダイヤルアップ接続の既定値を変更した場合は、その設定が有効になります。
- ネットセレクターのウィンドウサイズを変更することはできません。
- Outlook Expressの[ツール] - [アカウント] - [メール] - [プロパティ]をクリックし、[接続]の[このアカウントには次の接続を使用する]にチェックマークを付けている場合は、その接続が有効になります。

- コンピューターの管理者の権限以外でログオンした場合
  - [ネットワーク設定]画面は表示されません。
  - [接続方法]画面：
    - ドメインの設定を行っていない場合、ダイヤルアップ接続の既定の接続アイテムを切り替えることはできません。
    - [LAN] と [無線 LAN] を統一して [LAN] と表示されます。[LAN] と [無線 LAN] を切り替えることはできません。また、LAN の機器名は表示されません。

ネットワークへの接続設定を登録する

会社では LAN、出張先では別の LAN を使うなど、ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える必要がある場合、各ネットワークの接続方法をネットセレクターに登録しておくことができます。
登録しておけば、接続アイテムを選ぶだけで設定が切り替わります。

お知らせ

- モデムによるダイヤルアップの場合、Windowsで新しい接続を追加すれば、ネットセレクターで接続先を切り替えることができます。
- ネットワークへの接続設定の登録／変更／削除は、コンピューターの管理者の権限でログオンして行ってください。
- ネットセレクターに登録される設定内容は以下のとおりです。
  - IPアドレス
  - DNSアドレス
  - WINSアドレス
  - ゲートウェイ
  - ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定
  - LANおよび無線 LANの有効／無効
  - 通常使うプリンターの設定
  - Windowsファイアウォールの状態
  - 通常使う接続の設定
- ネットワーク設定には、ネットワークに関する高度な知識が必要です。Windowsのネットワークに関する用語や意味を十分理解したうえで本機能を使用してください。

ハードディスクドライブの取り付け／取り外し

ハードディスク内の重要なデータの流出を防ぐために、ハードディスクドライブを取り外すことができます。

お願い

- 重要なデータは、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずバックアップを取っておいてください。
- 修理その他の目的で、別のパソコン上でハードディスクのデータを読み込む必要がある場合は、ハードディスクドライブを取り外す前に、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「ハードディスク保護」を「無効」に設定してください。(➔77ページ)
- ハードディスクドライブは衝撃に非常に弱いため、取り付け／取り外しを行う際には十分に注意してください。また、静電気によって内部の部品が故障する可能性があります。

1 パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。

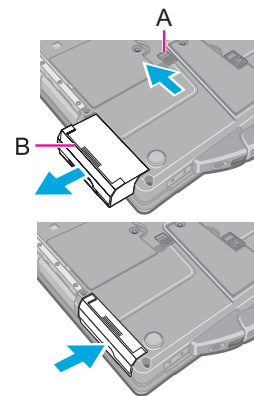
- スタンバイ機能や休止状態機能は使わないでください。

2 バッテリーパックを取り外す。(➔17ページ)

3 ハードディスクドライブを取り付ける／取り外す。

- 取り外すには
  ラッチ（A）をスライドして、カバー（B）をゆっくりと引き抜く。
  ハードディスクドライブはカバーの裏側に付いています。

- 取り付けるには
  カチッと音がするまでハードディスクドライブを挿し込みます。

4 バッテリーパックを取り付ける。(➔18ページ)

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にハードディスクドライブが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。
- お使いの際には必ずハードディスクドライブを取り付けてください。

お知らせ

- ハードディスクドライブを取り外す前に、データを消去することができます。(➔87ページ)
- セットアップユーティリティの「情報」メニューで、ハードディスクが認識されているかどうか確認できます。(➔73ページ) ハードディスクが認識されていない場合は、パソコンの電源を切って、再度取り付けてください。

パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）をすることができます。

セットアップユーティリティを起動する

1 **パソコンの電源を入れる、または再起動する。**

2 **パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間にF2 または Del を押す。**

[パスワードを入力してください]が表示されたら、パスワードを入力してください。

スーパーバイザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- 次のようになります。
  - 「詳細」および「起動」メニューでは、すべての項目の設定を変更できません。
  - 「セキュリティ」メニューでは、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合に、ユーザーパスワードのみ変更できます。ユーザーパスワードを削除することはできません。
  - 「終了」メニューでは、「デフォルト設定」および「デバイスを指定して起動」の設定はできません。
  - F9（デフォルトの設定）は使えません。

情報メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

言語（Language）	English 日本語（Japanese）

製品情報

機種品番 製造番号	パソコン情報 （変更はできません）

システム情報

プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー VRAM サイズ ハードディスク	パソコン情報 （変更はできません）

BIOS 情報

BIOS 電源コントローラー 累積使用時間 アクセスレベル	パソコン情報 （変更はできません）

メインメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

システム日付 • 年／月／日 • **Tab** でカーソルの移動ができます。	[xxxx/xx/xx]
システム時間 • 24 時間制です。 • **Tab** でカーソルの移動ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

フラットパッド	無効 有効
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。	外部ディスプレイ 内部 LCD 同時表示
環境	常温 高温 自動
現在の状態 •「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。

詳細メニュー

CPU Configuration　　下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
データ実行防止機能 ・「有効」にすると、ハードウェアデータ実行防止（DEP）機能が有効になります。	無効 有効
Core Multi-Processing	無効 有効
Intel(R) Virtualization Technology	無効 有効

周辺機器設定

項目	設定
光学ドライブ	無効 有効
シリアルポート	無効 有効
LAN	無効 有効
Power On by LAN 機能 ・「LAN」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。 ・[Power On by LAN機能]を使うには、[デバイス マネージャ] でも設定が必要です。（➔56ページ）	禁止 許可
無線 LAN	無効 有効
Bluetooth	無効 有効
無線スイッチ	無効 有効
モデム	無効 有効
Express Card スロット	無効 有効
PC カードスロット	無効 有効
SD スロット	無効 有効
IEEE1394 ポート	無効 有効
USB ポート	無効 有効

レガシー USB	無効 有効

起動メニュー

起動オプション優先度

起動オプション #1 起動オプション #2 起動オプション #3 起動オプション #4 起動オプション #5 起動オプション #6	USB フロッピー [*1] ハードディスク CD/DVD ドライブ LAN USB ハードディスク USB CD/DVD ドライブ

■ 起動順位を変更するには

工場出荷時の起動順位は「USB フロッピー [*1]」→「ハードディスク」→「CD/DVD ドライブ」→「LAN」→「USB ハードディスク」→「USB CD/DVD ドライブ」です。

- 変更したい起動デバイス上で **Enter** を押し、起動デバイスを下記のメニューから選んでください。
  - 新たに選択した起動デバイスが、すでに「起動オプション (#1 ～ #6)」のいずれかにある場合、元の起動デバイスと、新たに選択した起動デバイスの起動順位が入れ替わります。
  - 以下のメニューで「無効」を選んだ場合、無効になった「起動オプション」は認識されず、その次の起動デバイスが作動します。

ハードディスク CD/DVD ドライブ LAN USB フロッピー [*1] USB ハードディスク USB CD/DVD ドライブ 無効

[*1] 当社製 USB フロッピーディスクドライブ（別売り：CF-VFDU03U）

セキュリティメニュー

起動時の表示設定　　　下線は工場出荷時の設定です。

Setup Utility 表示 • 「Setup Utility 表示」が「無効」になっていると、[Press F2 for Setup/F12 for LAN] というメッセージが [Panasonic] 起動画面に表示されません。ただし、メッセージが表示されなくても **F2** と **F12** は働きます。	無効 有効
起動時のパスワード	無効 有効
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示
ハードディスク保護 • 「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ変更できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	保護する 保護しない
ユーザーパスワード設定	サブメニュー表示
▶ 内蔵セキュリティ（TPM） • 内蔵セキュリティ（TPM）内蔵モデルのみ • 詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」を入力し、[OK] をクリックしてください。	サブメニュー表示

終了メニュー

設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動する
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存せずに再起動する

保存オプション

設定を保存する	設定内容を保存する
設定を戻す	設定内容を変更前の設定に戻す
デフォルト設定	工場出荷時の設定に戻す

デバイスを指定して起動

(デバイス情報)	次の起動時にのみ作動するデバイスを選択する

画面の項目表示を拡大する

文字やアイコン、タイトルバー、マウスカーソルなどを拡大表示できます。

お願い

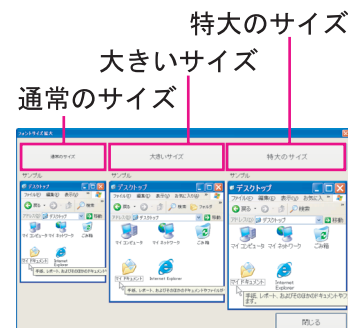
- ディスプレイの解像度を1024 x 768未満に設定すると、フォントサイズ拡大ツールは起動しません。

お知らせ

- 拡大表示すると、メニューの一部や画面上の項目の一部が隠れて見えなくなることがあります。その場合は、カーソルをメニュー上に移動させてポップアップを表示させたり、画面をスクロールさせたりするなどの機能を使って、隠れた項目を表示させてください。
- フォントサイズ拡大設定は、Internet Explorer上で表示されるWebページの文字や、Outlook Express上の電子メールの文字にも影響します。ただし、Webページや電子メールの文字の中には、拡大表示されないものもあります。

準備

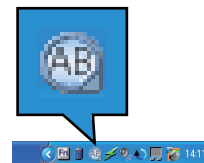
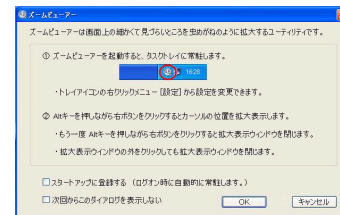
フォントサイズ拡大ツールを使用する前に、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。

1. **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [フォントサイズ拡大]をクリックする。**
2. **サイズを選択する。**
3. **[OK]をクリックする。**
   設定したサイズで画面が表示されます。

画面の一部を拡大することができます。

ズームビューアーを起動する

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ズームビューアー]をクリックする。**

2 **[OK]をクリックする。**

● 画面右下のタスクトレイに が表示されます。

ズームビューアーを使う

1 **画面上の拡大したい部分にカーソル を合わせる。**

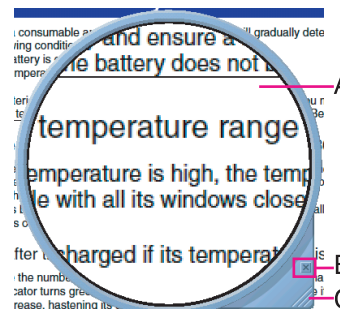
2 **Altを押したまま右クリックする。**

● カーソルを合わせた部分が拡大されます。

● をダブルクリックするか、をクリックし [表示する] をクリックしても拡大できます。

3 **拡大表示ウィンドウ（A）をドラッグして、拡大表示される部分を動かす。**

● 拡大表示ウィンドウを非表示にするには、（非表示ボタン）（B）をクリックする。
または、拡大表示ウィンドウの範囲外でクリックするか、 Alt を押したまま右クリックしてください。

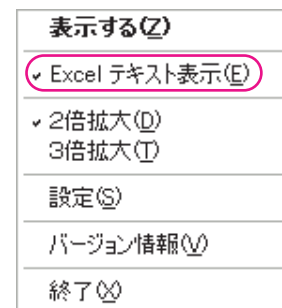
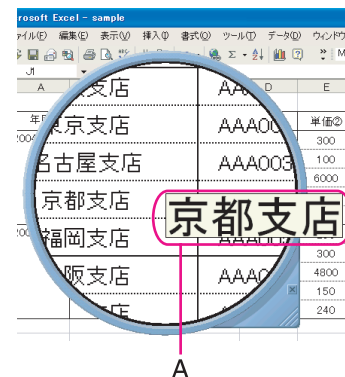
● 拡大表示ウィンドウのサイズを変更するには、右下の隅（C）をドラッグしてください。
拡大／縮小できるサイズの範囲は、画面の解像度により異なります。

お知らせ

- 拡大表示ウィンドウの中のテキストや画像は、拡大表示された瞬間（例：**Alt**を押したまま右クリックした瞬間）のものになります。元の画面で変更した内容を拡大表示ウィンドウに反映するには、拡大表示ウィンドウをクリックしてください。
- アプリケーションソフトによっては、ズームビューアーが働かない場合があります。

■ Excelのセルの文字を拡大表示するには

拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字を、テキスト表示ウィンドウ（A）に大きく表示することができます。

① 画面右下のタスクトレイの を右クリックする。

② [Excelテキスト表示]にチェックマークを付ける。
- 工場出荷時はチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すと、テキスト表示ウィンドウは表示されません。

お知らせ

- 次の場合、テキスト表示ウィンドウは表示されません。
  - お使いのExcelが、Microsoft® Excel 2000／Microsoft® Excel 2002／Microsoft® Office Excel 2003よりも前のバージョンの場合
（上記よりも前のバージョンには対応していません。）
  - セル以外（テキストボックス、コメント、グラフなど）の文字の場合
  - 印刷プレビュー画面の場合
  - テンプレートを使用してファイルを新規作成し、そのファイルを保存していない状態（保存するとテキスト表示ウィンドウが表示されます。）
- 複数のウィンドウで、同じ名前のファイルを開いているときは、テキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。また、ファイルによってもテキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。

- テキスト表示ウィンドウで表示される文字は、1番手前に表示されているExcelファイル（選択されているExcelファイル）の拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字です。
- セルからはみ出した文字上にカーソルがあった場合は、テキスト表示ウィンドウは表示されません。はみ出した文字が格納されているセル上にカーソル（拡大表示ウィンドウの中央部分）を移動させてください。

ズームビューアーを設定する

1 **画面右下のタスクトレイの[AB]を右クリックする。**

2 **[設定]をクリックする。**

[表示／非表示のショートカットキーの割り当て]

- 外部マウス／フラットパッドを使用するとき
  ① [マウス／タッチパッド]をクリックする。
  ② **Alt**、**Ctrl**、**Shift**の中から組み合わせるキーをクリックし、チェックマークを付ける。（複数キーの組み合わせが可能です。例：**Ctrl**+**Alt**）
  ③ [右クリック]または[左クリック]のいずれかのうち、上記の手順②で選択したキーと組み合わせて使うものを選択してください。
- キーボードを使用するとき
  ① [キーボード]をクリックする。
  ② エディットボックスをクリックし、ショートカット用に使うキーを押す。（例：**Alt**+**Z**、**Ctrl**+**Alt**+**Z**など）

[ウインドウデザイン]
拡大表示ウィンドウの形を選択します。

[起動]
Windowsの起動と同時にズームビューアーを自動的に起動するように設定したり、ズームビューアー起動時に説明を表示するように設定したりすることができます。

3 **[OK]をクリックする。**

ハードウェアの自己診断機能

本機のハードウェアが正常に動作していない可能性がある場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って診断することができます。
ハードウェアに問題が発見されたときは、ご相談窓口にご相談ください。
このユーティリティでソフトウェアを診断することはできません。

PC-Diagnostic ユーティリティで診断できるハードウェア

- CPU
- メモリー
- ハードディスク
- CD/DVD ドライブ
- ビデオコントローラー
- サウンドコントローラー [*1]
- モデム
- LAN 機能
- 無線 LAN 機能
- Bluetooth 機能
- USB
- IEEE 1394 機器
- PC カードコントローラー
- SD カードコントローラー
- ExpressCard コントローラー
- シリアルポート
- キーボード
- フラットパッド

[*1] Windows メニューで音声をオフにしている場合は、ビープ音は鳴りません。

- ビデオコントローラー診断の実行中に、画面が乱れることがあります。また、サウンドコントローラー診断の実行中に、スピーカーから音が出ることがあります。いずれも故障ではありません。

PC-Diagnostic ユーティリティについて

お知らせ

- ハードディスクとメモリーについては、標準診断と拡張診断のいずれかを選択できます。
  PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、標準診断がスタートします。

- 操作にはフラットパッドを使用することをお勧めします。フラットパッドを使わない場合は、内蔵キーボードをお使いください。

操作内容	フラットパッド操作	内蔵キーボード操作
アイコンを選ぶ。	アイコンの上にカーソルを置く。	Space を押し、→ ← ↑ ↓ を押す（⊠（閉じる）は選択できません）。
アイコンをクリックする。	クリックする（右クリックは使えません）。	アイコンの上で Space を押す。
PC-Diagnostics ユーティリティを終了し、パソコンを再起動する。	⊠（閉じる）をクリックする。	Ctrl + Alt + Del を押す。

- フラットパッドが正常に動作しない場合は、 Ctrl + Alt + Del を押すか、電源スイッチを押して電源を切り、パソコンを再度起動してから PC-Diagnostic ユーティリティを起動してください。

診断を実行する

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の状態に戻して診断を実行してください。
セットアップユーティリティその他の設定でハードウェアが無効になっていると、そのハードウェアのアイコンがグレー表示されます。

1 AC アダプターを接続する。

診断が完了するまで、AC アダプターを取り外したり、周辺機器を取り付けたりしないでください。

2 無線切り替えスイッチ（➔59ページ）の電源を入れる。

3 パソコンの電源を入れるか再起動し、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- セットアップユーティリティを工場出荷時の設定から変更している場合は、設定をメモしておくことをお勧めします。

4 F9 を押す。

確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。

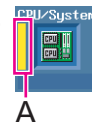
5 F10 を押す。

確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。
パソコンが再起動します。

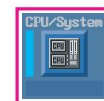
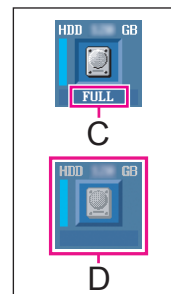
6 [Panasonic] 起動画面が表示されている間に、画面下に「Please Wait」と表示されるまで Ctrl + F7 を押す。

PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、すべてのハードウェアの診断が順番に始まります。

- パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
- ハードウェアアイコンの左側のバー（A）が青色と黄色に交互に点滅し始めるまで、フラットパッドと内蔵キーボードは使えません。
- 画面上のアイコンをクリックして、次の操作をすることができます。
  - ▷ : 診断を最初から実行する。
  - □ : 診断を中止する。（▷ をクリックしても、途中から再開することはできません）
  - i : ヘルプを表示する。（画面をクリックするか、 Space を押すと元の画面に戻ります）

CPU/System
A

- 診断状況は、ハードウェアアイコンの左側に表示されるバー（A）の色で確認できます。
  - 水色：診断を実行していません。
  - 青色と黄色が交互に点滅：診断を実行中です。点滅の間隔は、標準診断か拡張診断かにより異なります。
    メモリー診断の場合は、画面が長い間停止状態になる場合があります。診断が終了するまでお待ちください。
  - 緑色：問題は見つかりませんでした。
  - 赤色：問題が見つかりました。

お知らせ

- 以下の手順で、特定のハードウェアの診断を実行したり、メモリーやハードディスクの拡張診断を実行したりすることができます（拡張診断はメモリーとハードディスク専用に用意されています）。拡張診断は詳細な診断を行うため、実行が終了するまでにより多くの時間がかかります。
  ① をクリックして診断を中止する。
  ② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックし、グレー表示（B）させる。
  メモリーまたはハードディスクの診断を実行しているときは、アイコンを一度クリックすると拡張診断（「FULL」（C）がアイコンの下に表示されます）になりますので、再度クリックしてアイコンをグレー表示（D）させてください。
  ③ をクリックして診断を開始する。

例：ハードディスク

7 すべてのハードウェアの診断が終わったら、診断結果を確認する。

バーの色が赤色になり、「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、ハードウェアに問題があると考えられます。赤色のハードウェアを確認し、ご相談窓口にご相談ください。
バーの色が緑色になり、「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、ハードウェアは正常に動作しています。そのままパソコンをお使いください。それでもパソコンが正しく動作しない場合は、ソフトウェアを再インストールしてください（⇒『取扱説明書』「再インストールする」）。

お知らせ

- RAM モジュール（別売り）を増設してメモリーの診断を実行し、「Check Result TEST FAILED」が表示された場合は、増設した RAM モジュールを取り外し、診断を実行してください。再び「Check Result TEST FAILED」のメッセージが表示された場合は、内蔵 RAM モジュールに問題があると考えられます。

8 ☒（閉じる）をクリックするか、Ctrl + Alt + Del を押してパソコンを再起動する。

ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコンを廃棄または譲渡する場合には、データが流出しないよう、ハードディスクのデータをすべて消去してください。通常の Windows メニューでデータの消去やハードディスクの初期化を行った場合でも、特殊なソフトウェアを使うと、消去されたデータが読み出される可能性があります。ハードディスクデータ消去ユーティリティを使って、データをすべて消去してください。
市販のソフトウェアをアンインストールせずに譲渡すると、ソフトウェア使用許諾契約に違反するおそれがありますのでご注意ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティでは、データを上書きする方法を用いていますが、誤動作や誤操作が起こると、データが完全に消去されない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性があります。非常に機密性の高いデータを消去する必要がある場合には、専門業者に依頼することをお勧めします。また、このユーティリティの使用により生じた損失や損害については補償いたしかねます。

お願い

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けのハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷したハードディスクのデータは消去できません。

お知らせ

- ハードディスクのデータを消去しても、DVD-Videoのリージョンコードを設定できる回数はリセットされません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

準備

- 次のものを準備してください。
  - Windows XP 用プロダクトリカバリー DVD-ROM（付属）
  - 当社製 CD/DVD ドライブ（内蔵）
- すべての周辺機器を取り外す。（CD/DVD ドライブを除く）
- AC アダプターを接続する。操作が完了するまで取り外さないでください。

1 **パソコンの電源を切って、CD/DVD ドライブをマルチメディアポケットの中に入れる（➔26ページ）。**

2 **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

3 **F9 を押す。**

確認メッセージが表示されたら「はい」を選び、 Enter を押してください。

4 **F10 を押す。**

確認メッセージが表示されたら「はい」を選び、 Enter を押してください。

5 **[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

6 **CD/DVD ドライブにWindows XP用プロダクトリカバリー DVD-ROM をセットする。**

7 **「終了」メニューを選び、「デバイスを指定して起動」で「TEAC DV-W28EC」を選択する。**

8 **Enter を押す。**

パソコンが再起動します。

- 「パスワードを入力してください」が表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

9 **2 を押して「2.［HDD 消去]」を実行する。**

- 操作を中止する場合は、 0（ゼロ）を押してください。

10 **確認メッセージが表示されたら、Y を押す。**

11 **「<<< スタートメニュー >>>」で Enter を押す。**

データ消去にかかるおおよその時間が表示されます。

12 **Space を押す。**

確認メッセージが表示されたら、 Enter を押してください。

ハードディスクのデータ消去が始まります。操作が完了すると、「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージが表示されます。何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

- 万一、途中で消去を中断する場合は、 Ctrl + C を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。

13 **プロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出し、いずれかのキーを押してパソコンの電源を切る。**

ネットワーク接続と通信ソフトウェアについて

省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。

- 通信ソフトウェアを使用中に省電力機能（スタンバイ機能や休止状態機能）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下したりすることがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- ネットワーク環境でお使いのときは、[システム スタンバイ] と [システム休止状態] を [なし] に設定することをお勧めします。
  [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックしてください。

Windows XPについて

コントロールパネルのクラシック表示やクラシックスタートメニューを選択することができます。また、ユーザーのログオン／ログオフのしかたを変更することもできます。本書では、クラシック表示やクラシックスタートメニューではなく、Windows XP の初期設定を用いて説明しています。

- Windows Update について
  Windows セキュリティセンターで [自動更新] を有効に設定している場合は、セキュリティの更新など、重要な更新が自動的にインストールされます。手動で更新を行う場合（重要な更新以外の更新を行う場合など）は、以下の手順で行ってください。
  ① コンピューターの管理者の権限でログオンする。
  ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Windows Update] をクリックする。
  ③ 画面の指示に従って更新プログラムをインストールする。
  - デバイスドライバーの更新プログラム（「カスタムインストール」の「ハードウェア用の更新プログラムを追加で選択」に表示される項目）は適用しないでください。お使いのパソコンと互換性がない場合があります。詳しくは、弊社の Web ページ（http://askpc.panasonic.co.jp/security/index.html）をご覧ください。
  - 再インストールした後も必ず [Windows Update] を行ってください。インストールした更新プログラムの種類により、さらに更新プログラムが提供されている場合があります。プログラムの更新後に再度 Windows Update を実行してください。
- **「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」というメッセージが表示されたら**
  タスクバーの をクリックし、必要な設定をしてください。Windows セキュリティセンターは、パソコンを快適な状態でお使いいただくため定期的に通知を行いますが、エラーメッセージではありませんので、そのままパソコンをお使いいただけます。ただし、ウイルスなどの危険にさらされないよう、適切な対策を行うことをお勧めします。

Windows関連ファイルについて

Windows XP 用 DVD-ROM に収録された Windows 関連ファイルは、下記のフォルダーにインストールされています。
c:¥windows¥docs、c:¥windows¥dotnetfx、c:¥windows¥i386、c:¥windows¥support、c:¥windows¥valueadd

エラーコードやメッセージが表示された場合は、下記の対処の説明に従ってください。それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対処
システム CMOS 値が正しくありません。 **システム CMOS のチェックサムが正しくありません。**	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、メモリーの内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
日付と時刻の設定が正しくありません。01/01/2008 に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
<F2> キーを押すとセットアップを起動します。	● エラー内容をメモした後、F2 または Del を押してセットアップユーティリティを起動してください。必要に応じて設定を変更してください。
RAM モジュールエラーです。	RAM モジュールが正しく取り付けられていなかったり、指定以外の RAM モジュールが取り付けられていたりすると、パソコンの電源を入れたときにビープ音が鳴り、「RAM モジュールエラーです。」というメッセージが表示されます。 ● 電源スイッチを 4 秒間以上押し続けてパソコンの電源を切り、RAM モジュールの仕様が指定のものであることを確認し、正しく取り付け直してください。

トラブルが発生した場合は、以下の方法をお試しください。以下の方法でも解決しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。ソフトウェアに関する問題は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
• パソコンの使用状態を確認するには（➔104 ページ）

■ 終了時

Windows の終了または再起動ができない。	● USB 機器を取り外してください。 ● 終了するまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。

■ ディスプレイ

Fn + **F2** を押しても画面が明るくならない。	● 周囲の温度が高い場合、誤動作を防ぐために輝度が低く設定されます。5 ℃ ～ 35 ℃の環境でお使いください。

■ スタンバイ・休止状態機能

スタンバイまたは休止状態に入ることができない。	● USB 機器をいったん取り外してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● スタンバイ・休止状態に入るまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。 ● モデム経由で通信している場合、パソコンがスタンバイ状態に入らないことがあります。 ● リジューム直後はスタンバイまたは休止状態に入りません。約 1 分間お待ちください。 ● B's CLiP を使ってフォーマットしたディスクが CD/DVD ドライブに入っている場合、パソコンがスタンバイ状態や休止状態に入らないことがあります。ディスクを取り出してください。
自動的にスタンバイまたは休止状態に入らない。	● 周辺機器を取り外してください。 ● B's CLiP を使ってフォーマットしたディスクが CD/DVD ドライブに入っている場合、パソコンがスタンバイ状態や休止状態に入らないことがあります。ディスクを取り出してください。 ● 無線 LAN 機能を使ってネットワークに接続している場合、プロファイルを選択し、アクセスポイント（➔64 ページ）に接続してください。 ● 無線 LAN 機能を使わない場合、無線 LAN の電源を切ってください。（➔63 ページ） ● ハードディスクに定期的にアクセスするソフトウェアを使っていないか確認してください。

■ スタンバイ・休止状態機能

パソコンがリジュームしない。	● 電源スイッチを 4 秒以上押し続けると、パソコンが強制終了し、リジュームしません。その場合、保存されていないデータはすべて失われます。 ● パソコンがスタンバイ状態のときに、AC アダプターとバッテリーパックを取り外しませんでしたか？ スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保存されていないデータは失われ、パソコンはリジュームしません。 ● バッテリー残量がありません。スタンバイまたは休止状態でも電力は消費されます。

■ サウンド

音が聞こえない。	● **Fn**+**F4** または **Fn**+**F6** を押してミュートを解除してください。 ● パソコンを再起動してください。
音が乱れる。	● **Fn** とのキーの組み合わせによる操作をすると、音が乱れることがあります。再生をいったん停止し、再生し直してください。
Fn+**F5** または **Fn**+**F6** で音量を変更できない。	● Windows サウンド機能を有効に設定してください。サウンド機能が働いていないと、が表示されても音量は変化しません。

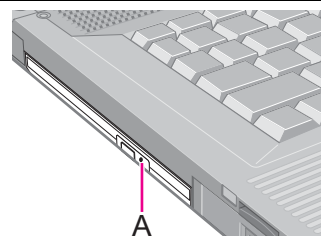
■ キーボード

日本語が入力できない。	● **半角 / 全角**を押して日本語入力モードにしてください。
数字しか入力できない。	● NumLK ランプ ⃞1 の点灯中は、キーボードがテンキーモードになっています。**NumLk** を押して解除してください。
大文字しか入力できない。	● Caps Lock ランプ Ⓐ の点灯中は、キーボードが大文字入力モードになっています。 **Shift**+**Caps Lock** を押して解除してください。
特殊文字（ß、à、ç など）や記号が入力できない。	● 文字コード表を使ってください。[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システム ツール] - [文字コード表] をクリックしてください。

■ ディスク操作

CD/DVD ドライブが正常に動作しない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「光学ドライブ」を「有効」に設定してください。(➔75 ページ) ● レンズのクリーニングを行ってください。(➔28 ページ) ● ディスクの状態を確認してください。(➔29 ページ)

■ ディスク操作

市販の DVD レコーダー /CPRM で録画したテレビ番組が再生できない。	● 番組が DVD-Video モードで DVD-R/RW に録画されているとき、または VR モードで DVD-RW に録画されているときには、DVD レコーダーでディスクをファイナライズしてください。
MPEG の画像を再生しているときに画面の背景が青くなる。	● 動作中に、CD/DVD ドライブから、ディスクを取り出しませんでしたか？ディスクをセットしてディスクトレイを閉じてください。
CD/DVD ドライブ振動や作動音が大きい。	● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの状態を確認してください。（➔29 ページ） ● B's Recorder を使って CD-R/RW に書き込むときは、書き込み速度を [8 倍速] 以下に設定してください。
ディスクが取り出せない。	● パソコンの電源が入っていますか？ 電源が入っていない状態でディスクを取り出すには、直径 1.3 mm のピンをエマージェンシーホール（A）に挿し込んで、トレイを引き出してください。（ピンの直径がこれより小さい場合は、ピンを少し下に向けて挿し込んでください。また、穴の位置はドライブによって異なります。） A
ディスクトレイが閉じない。	● トレイを閉じるとき、ディスク取り出しボタンを押していませんか？トレイを閉じるときはディスク取り出しボタンに触れないでください。
その他のディスク操作上の問題。	● 別のドライブもしくはディスクをお使いください。

■ ネットワーク

ネットワークに接続できない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」または「モデム」を「有効」に設定してください。（➔75 ページ）

■ ネットワーク

パソコンの MAC アドレスが確認できない。	● 次の手順を行ってください。 ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンド プロンプト]をクリックする。 ②「ipconfig/all」と入力し**Enter**を押す。 ③ 無線LANのMACアドレス： 「Intel(R) WiFi Link 5100」の「物理アドレス」の行に表示される12けたの英数字をメモする。 有線LANのMACアドレス： 「Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection」の「物理アドレス」の行に表示される12けたの英数字をメモする。 ④「exit」と入力し **Enter**を押す。

■ 無線通信

ネットワークに接続できない。	● 無線切り替えスイッチをスライドし、無線 LAN をオンにしてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「モデム」または「無線 LAN」または [Bluetooth] を「有効」に設定してください。（➔75ページ） ● 無線接続無効ユーティリティを無効にしてください。（➔61ページ） ● パソコンを再起動してください。

■ 無線通信

アクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。	● パソコンとアクセスポイントの距離を近づけて、再度検出してください。 ● 無線 LAN の電源を入れた直後、または IEEE802.11a を有効にした直後は、アクセスポイントが検出されません。以下の手順で検出してください。 ① 画面右下のタスクトレイの または を右クリックする。 ② [利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックして、[ネットワークの一覧を最新の情報に更新]をクリックする。 • ワイヤレスネットワーク接続 ① 画面右下のタスクトレイの または を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。 ②「ネットワーク接続」画面の[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[無効にする]が表示されていることを確認する。 [有効にする]が表示されている場合は、無線LANが無効です。[有効にする]をクリックしてください。 • ワイヤレスオン ①「ネットワーク接続」画面を開く（上記「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。 ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [全般] - [構成] - [詳細設定]をクリックする。 ③ [ワイヤレスオン]と表示されていることを確認する。 [ワイヤレスオフ]と表示されている場合は、[ワイヤレスオフ]をクリックし、[ワイヤレスオン]をクリックしてください。 ● パソコンどうしが、直接通信を行う方式（ad hoc モード）になっていないか確認してください。 ①「ネットワーク接続」画面を開く（上記「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。 ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [ワイヤレスネットワーク]をクリックする。 ③ [詳細設定]をクリックする。 ④ [コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ]が選択されている場合は、[利用可能なネットワーク（アクセスポイント優先）]をクリックする。

■ 無線通信

アクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。 （つづき）	● 「ワイヤレスネットワークの選択」画面で、接続するアクセスポイントの右側に「オンデマンド」または「手動」と表示されている場合は、アクセスポイントをクリックして、[接続] をクリックしてください。 自動接続するには、下記の手順に従ってください。 ・「オンデマンド」と表示されている場合： アクセスポイントが通信範囲内にあっても、自動で接続しないように設定されています。自動接続するには以下の設定を行ってください。 ①「関連したタスク」にある「優先ネットワークの順位の変更」をクリックする。 ②「優先ネットワーク」から接続するアクセスポイントをクリックし、[プロパティ]をクリックする。 ③ [接続]をクリックする。 ④「自動接続」の[このネットワークが範囲内にあるとき接続する]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。 次回からは自動接続されます。 ・[手動] と表示されている場合： 前回、接続中のアクセスポイントを切断したため、手動接続になっています。一度接続し直すと、次回からは自動で接続されます。 ● 画面右下のタスクトレイに または が表示されている場合は、下記の手順を行ってください。 ・ が表示されているときは、IP アドレスなどが正しく取得できなかった可能性があります。 をクリックし、[サポート] をクリックして [修復] をクリックしてください。 上記を行っても が表示される場合は、ネットワークの各設定を確認してください。 ・ が表示されている場合は、接続中です。そのまましばらくお待ちください。 の表示が長く続く場合、下記の手順を行ってください。 ① をクリックし、[ワイヤレスネットワークの表示]をクリックする。 ② 接続するアクセスポイントをクリックし、[切断]をクリックする、 ③ 再度、接続するアクセスポイントをクリックし、[接続]をクリックする。

■ 無線通信

アクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。 （つづき）	● ネットワーク接続の画面にネットワークブリッジが作成されていませんか？ ネットワークブリッジを使用しない場合は削除してください。
アクセスポイントとの通信が切れる。	● IEEE 802.1X 規格の認証システムを採用していないネットワーク環境の場合は、下記の手順に従って、[このネットワークで IEEE 802.1X を有効にする] にチェックマークが付いていないことを確認してください。 ① 「ネットワーク接続」画面を開く（➔96ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。 ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、[プロパティ] - [ワイヤレスネットワーク]をクリックする。 ③ [優先ネットワーク]から接続するネットワーク名をクリックし、[プロパティ]をクリックする。 ④ [認証]をクリックし、[このネットワークでIEEE 802.1X認証を有効にする]にチェックマークが付いていないことを確認する。
無線 LAN の接続が切れる。	● （➔101 ページ「周辺機器を接続する」の「LAN の通信速度が極端に遅くなる。」）

■ 周辺機器を接続する

ドライバーのインストール中にエラーが発生する。	● カードや周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OS に対応していることをご確認ください。未対応のドライバーを使用すると、誤動作につながる場合があります。ドライバーについては、周辺機器の製造元にお問い合わせください。 ● ドライバーが入ったメディア（CD-ROM など）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。

■ 周辺機器を接続する

周辺機器が動作しない。	● ドライバーをインストールしてください。 ● 機器の製造元にお問い合わせください。 ● スタンバイ・休止状態からリジュームした後、マウスやモデム、PC カードなどが正しく動作しないことがあります。その場合はパソコンを再起動するか、機器を初期化してください。 ● デバイスマネージャで ! が表示される場合は、機器を抜き挿ししてください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● 機器の中には、パソコンが取り付け／取り外しを認識しなかったり、正常に動作しなかったりするものがあります。次の操作を行ってください。 ① [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] をクリックする。 ② 該当の機器を選択し、[電源の管理]の[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]のチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。） ● USB 機器が動作しない場合は、USB 機器を接続し直すか、別の USB ポートに接続してください。
接続しているマウスが動作しない。	● マウスの接続を確認してください。 ● マウスに対応するドライバーをインストールしてください。 それでもマウスが動作しない場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔74 ページ）
USB フロッピーディスクドライブが、起動ドライブとして動作しない。	● 当社製 USB フロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03U）（別売り）のみお使いいただけます。 ● フロッピーディスクドライブを、直接パソコンの USB ポートに接続してください。USB ハブなどの USB ポートを経由して接続しないでください。パソコンの USB ポートにすでに接続している場合は、別の USB ポートに接続してみてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「USB ポート」と「レガシー USB」を「有効」に設定してください。（➔75 ページ） ● セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「起動オプション #1」を「USB フロッピー」に設定してください。（➔76 ページ） ● パソコンの電源を切り、USB フロッピーディスクドライブを接続後、パソコンを再起動してください。

■ 周辺機器を接続する

RAM モジュールが認識されない。	● RAM モジュールを正しく取り付けてください。 ● 仕様に合った RAM モジュールをお使いください。（➔48 ページ） ● セットアップユーティリティの「情報」メニューをご確認ください。（➔73 ページ）RAM モジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、取り付け直してください。
割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなどのアドレスマップがわからない。	● 現在のアドレスマップを確認するには、[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [表示] - [リソース（種類別）] をクリックしてください。
シリアルコネクターに接続している機器が動作しない。	● 接続を確認してください。 ● 機器のドライバーは働いていますか？詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。 ● 同時に、2 個のマウスを使わないでください。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔74 ページ） ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「シリアルポート」を「有効」に設定してください。（➔75 ページ）
印刷できない。	● プリンターの接続を確認してください。 ● プリンターの電源を入れてください。 ● プリンターはオンラインになっていますか？ ● 用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ● プリンターの電源を入れてパソコンに接続後、パソコンを再起動してください。 ● プリンターがネットワーク経由で接続されている場合には、ネットワークの接続を確認してください。

■ 周辺機器を接続する

LAN の通信速度が極端に遅くなる。 PC カードを経由したデータ通信が正常に動作しない（IEEE1394 PC カードを使って DV カメラに書き出す場合に動画が乱れるなど）。 無線 LAN 接続が切断されている。	● これらの問題は、CPU の省電力機能によって、パフォーマンスが低下するために起きる場合があります。コンピューターの管理者の権限で Windows にログオン後、次の操作を行ってください。 ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥cpupower¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックする。 画面の指示に従ってください。 ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [CPU 省電力設定] をクリックする。 ③ [パフォーマンス優先]をクリックし、[OK] をクリックして、[はい]をクリックする。 パソコンが再起動します。 ● それでも問題が解決しない場合は、[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックし、[電源設定] の[常にオン]をクリックし、[OK] をクリックしてください。 • この操作は、CPU の省電力機能が原因で発生する現象には効果がありますが、その他の原因による現象には効果がありません（例：ビデオ再生など、CPU に高い負荷がかかりノイズが発生する場合など）。 • この操作を行うと、バッテリーでの駆動時間が多少短くなります。通常は、[CPU省電力設定] を [バッテリー優先（Windows XP標準）] に、また [電源オプション] の [電源設定] を [ポータブル／ラップトップ] に戻しておくことをお勧めします。

■ フラットパッド

カーソルが動かない。	● 外部マウスを正しく接続してください。 ● キーボードを操作して、パソコンを再起動してください。 （⊞、Uの順に押し、Rで [再起動] を選んでください。） ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」をご覧ください。（➔103 ページ）
フラットパッドを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「有効」に設定してください。（➔74 ページ） ● マウスのドライバーの種類によっては、フラットパッドが使えないことがあります。詳しくはマウスの取扱説明書をご覧ください。
Internet Explorer でフラットパッドのスクロール機能を使用できない。	● マウスカーソルを Internet Explorer の外へ移動してから、あらためて内側へ戻してみてください。

■ PCカード／エクスプレスカード

カードが使えない。	● カードは正しく挿入されていますか？ ● 規格に合ったカードをお使いください。 ● カードまたはその他の機器のドライバーをインストールした後、パソコンを再起動してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「PCカードスロット」と「ExpressCardスロット」を「有効」に設定してください。（➔75ページ） ● ポートを正しく設定してください。 ● カードの取扱説明書をご覧になるか、カードの製造元にお問い合わせください。 ● カードを入れ直してください。（➔42 ページ） ● OS に対応したドライバーをお使いください。

■ SD メモリーカード

SD メモリーカードが使えない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「SDスロット」を「有効」に設定してください。（➔75ページ） ● 本機は、一部のSD/SDHCメモリーカードの最大保証速度をサポートしていません。

■ ユーザーの簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない。	● ユーザー簡易切り替え機能を使用して別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 • アプリケーションソフトが正しく動作しない。 • Fn とのキーの組み合わせが動作しない。 • 画面の設定ができない。 • シリアルマウスが動作しない。 • < セキュリティチップ（TPM）内蔵モデルのみ > 内蔵セキュリティチップ（TPM）の Personal Secure Drive が動作しない。 • 画面右下のタスクトレイに B's CLiP のアイコンが表示されず、ディスクに書き込みができない。 • 無線 LAN が使えない。 • Bluetooth が使えない。 このような場合は、ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにすべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ その他

応答がない。	● Ctrl+Shift+Esc を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れていませんか？ Alt+Tab で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを4秒以上押してパソコンを強制終了した後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、下記のメニューでそのアプリケーションソフトをいったん削除してから再度インストールしてください。 [スタート] - [コントロール パネル] - [プログラムの追加と削除]
Windows® Media Playerで動画の再生できず、[コーデックが必要] というメッセージが表示される。	● 一部の動画ファイルでは、標準でインストールされていないコーデックを使用するものがあります。その場合、インターネットに接続した後、再度動画ファイルを再生してください。自動的にコーデックがダウンロードされて再生できるようになることがあります。

パソコンの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。BIOS のバージョンやインストールされているアプリケーションソフトやドライバーの名称などが確認でき、お問い合わせ時にも役立ちます。

お知らせ

- 本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。これらの情報は万が一、ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。この機能を無効にするには、PC 情報ビューアーの [ハードディスク使用状況] の [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。
- コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。
- 実行中は、PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。**

2 **項目をクリックして、その項目の詳細情報を表示する。**

■ 情報をテキストファイルで保存する

1 **保存したい情報を表示する。**

2 **[保存]をクリックする。**

3 **ファイル保存する範囲を選択し、[OK]をクリックする。**

4 **情報を保存するフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。**

- [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]にチェックマークが付いていない場合、あらかじめ記録されているハードディスクドライブの管理情報などの履歴も保存されます。

■ 画面のコピーを画像ファイルに保存する

1 **保存したい画面を表示する。**

2 **Ctrl + Alt + F7 を押す。**

3 **メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。**

[マイドキュメント]フォルダーに画面の画像ファイルが保存されます。

- 次の操作で保存することもできます。
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [画面コピー] をクリックする。

お知らせ

- 画像は256色のビットマップファイルです。
- 拡張デスクトップモード（➔51ページ）を使用しているときは、プライマリーデバイス側に表示している画面が保存されます。
- 工場出荷時は、コピーするキーの組み合わせはCtrl + Alt + F7 になっています。次の手順で変更することもできます。
  ① コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。
  ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ③ [画面コピー]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。
  ④ カーソルを[ショートカットキー]に動かし、ショートカットに使うキーを押す。
  ⑤ [OK]をクリックする。

PCJ0245F_XP